

# 施設カルテ①

～学校、一般市民利用施設～

平成 25 年 10 月 22 日（火）

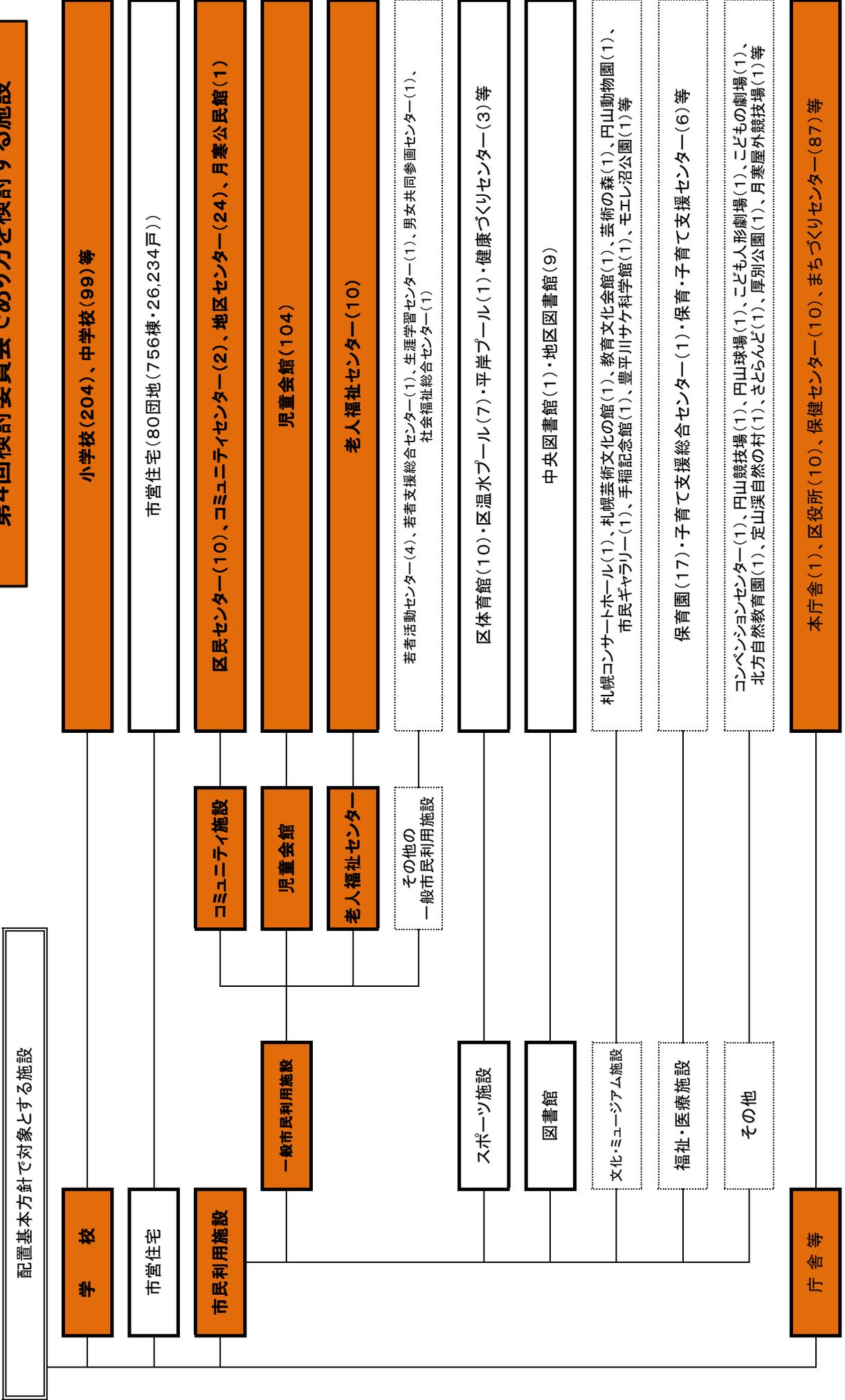
（第 4 回）札幌市市有建築物のあり方検討委員会

# 目 次

公共施設体系図 .....	1
<b>I 学校</b>	
小学校 .....	2
中学校 .....	4
<b>II 一般市民利用施設</b>	
区民センター・コミュニティセンター .....	6
地区センター・公民館 .....	16
児童会館 .....	26
老人福祉センター .....	34
まちづくりセンター・地区会館 .....	42

# 【公共施設体系図】

## 第4回検討委員会であり方を検討する施設



※「歩いて暮らせるまちづくり」など新たなまちづくりを目指す将来を見据えた施設配置の観点から、身近な生活圏域にある施設や区単位で設置されている地域施設を中心とする(実線部分)。

## I 学校

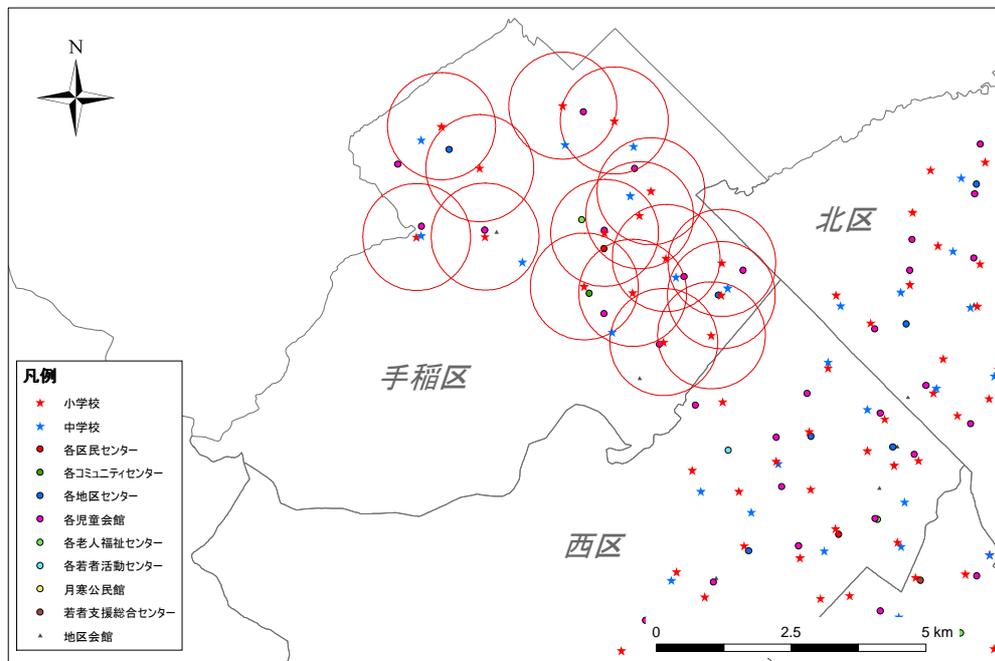
### 1. 小学校

#### ■基本情報

名称	小学校	
用途区分	小学校	
所管	教育委員会生涯学習部計画課	
設置根拠条例	札幌市立学校設置条例	
設置目的	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。	
運営形態	直営	
開館日数・時間	原則平日の8:30～15:10	
建築年数	0年～51年 7割以上の施設が築30年以上	
延床面積	適正規模校の平均面積：約7,600㎡（適正規模：18～24学級）	
主な施設の構成	普通教室、理科室、生活科室、音楽室、図工室、家庭科室、視聴覚室、コンピュータ室、図書室、特別活動室、教育相談室、職員室、校長室、事務室、印刷室、放送室、会議室、給食室、ボイラー室、PTA室、多目的室、屋内運動場、プール など	
施設の配置基準	適正な学校規模（18～24学級）を維持できる範囲に1校（計204校）	

#### ■類似施設調査（H24年度基礎的調査より）

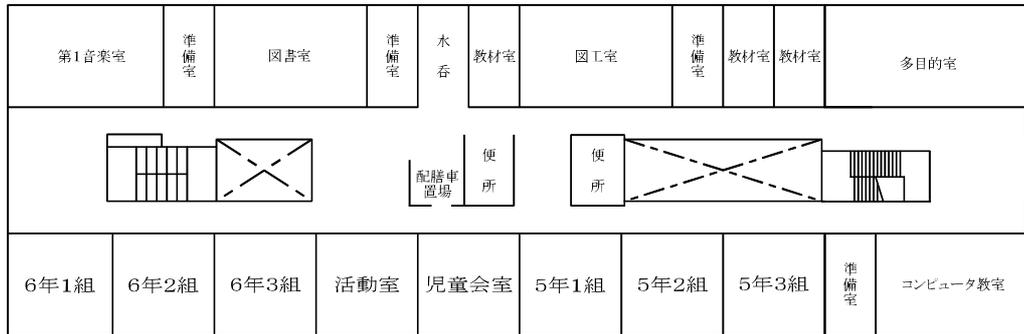
##### 例）手稲区



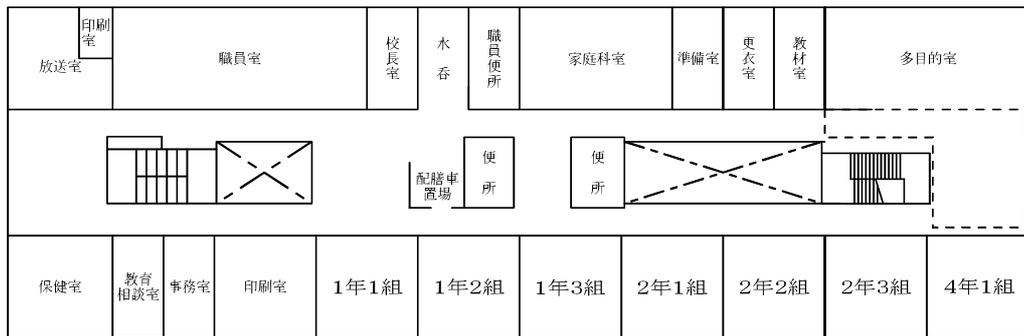
➤小学校から1km圏内は、居住エリアの大部分を網羅しており、ほとんどの小学校の1km圏内に、コミュニティ関連施設（コミュニティ施設、児童会館等）が配置されている。

# 宮の森小学校

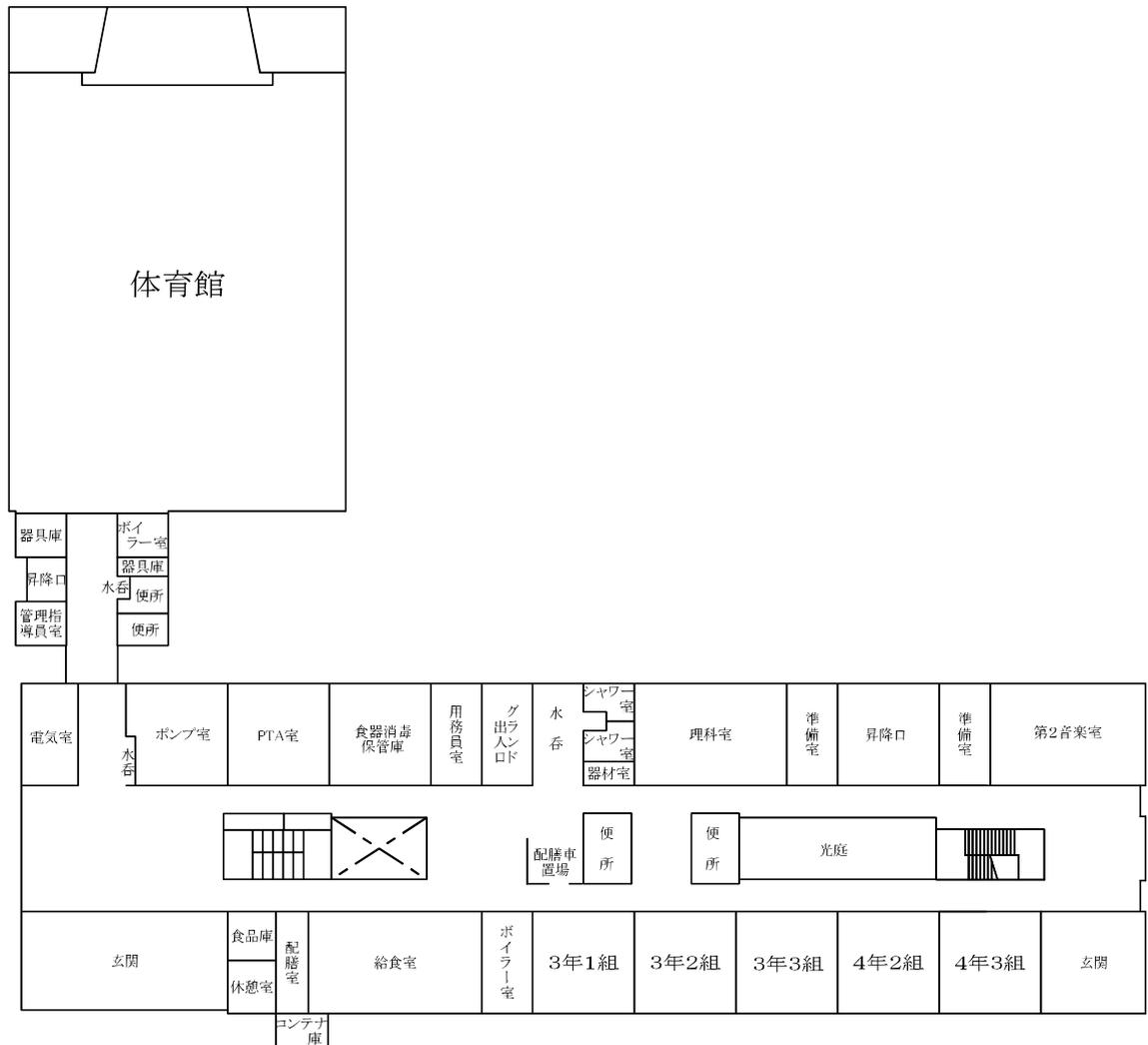
## 3階



## 2階



## 1階



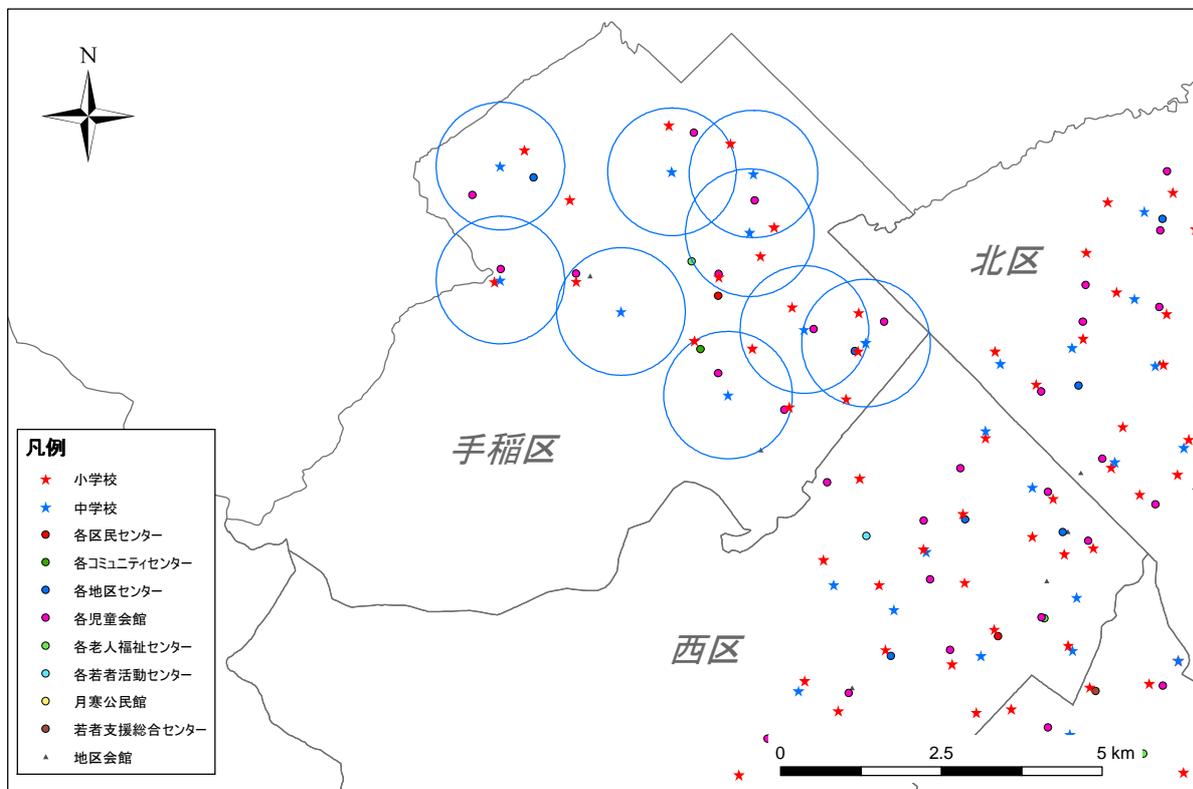
## 2. 中学校

### ■基本情報

名称	中学校	
用途区分	中学校	
所管	教育委員会生涯学習部計画課	
設置根拠条例	札幌市立学校設置条例	
設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。	
運営形態	教育委員会及び学校	
開館日数・時間	原則平日の8:30～15:40	
建築年数	0年～51年 6割以上の施設が築30年以上	
延床面積	適正規模校の平均面積：約8,400㎡（適正規模：12～18学級）	
主な施設の構成	普通教室、理科室、音楽室、美術室、木工室、金工室、被服室、調理室、外国語教室、視聴覚室、コンピュータ室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、職員室、校長室、事務室、印刷室、放送室、会議室、給食室、ボイラー室、PTA室、多目的室、屋内運動場、格技場 など	
施設の配置基準	適正な学校規模（12～18学級）を維持できる範囲に1校（計99校）	

### ■類似施設調査（H24年度基礎的調査より）

#### 例）手稲区



➤中学校から1km圏内は、居住エリアの大部分を網羅しており、ほとんどの中学校の1km圏内に、コミュニティ関連施設（コミュニティ施設、児童会館等）が配置されている。

# 東月寒中学校

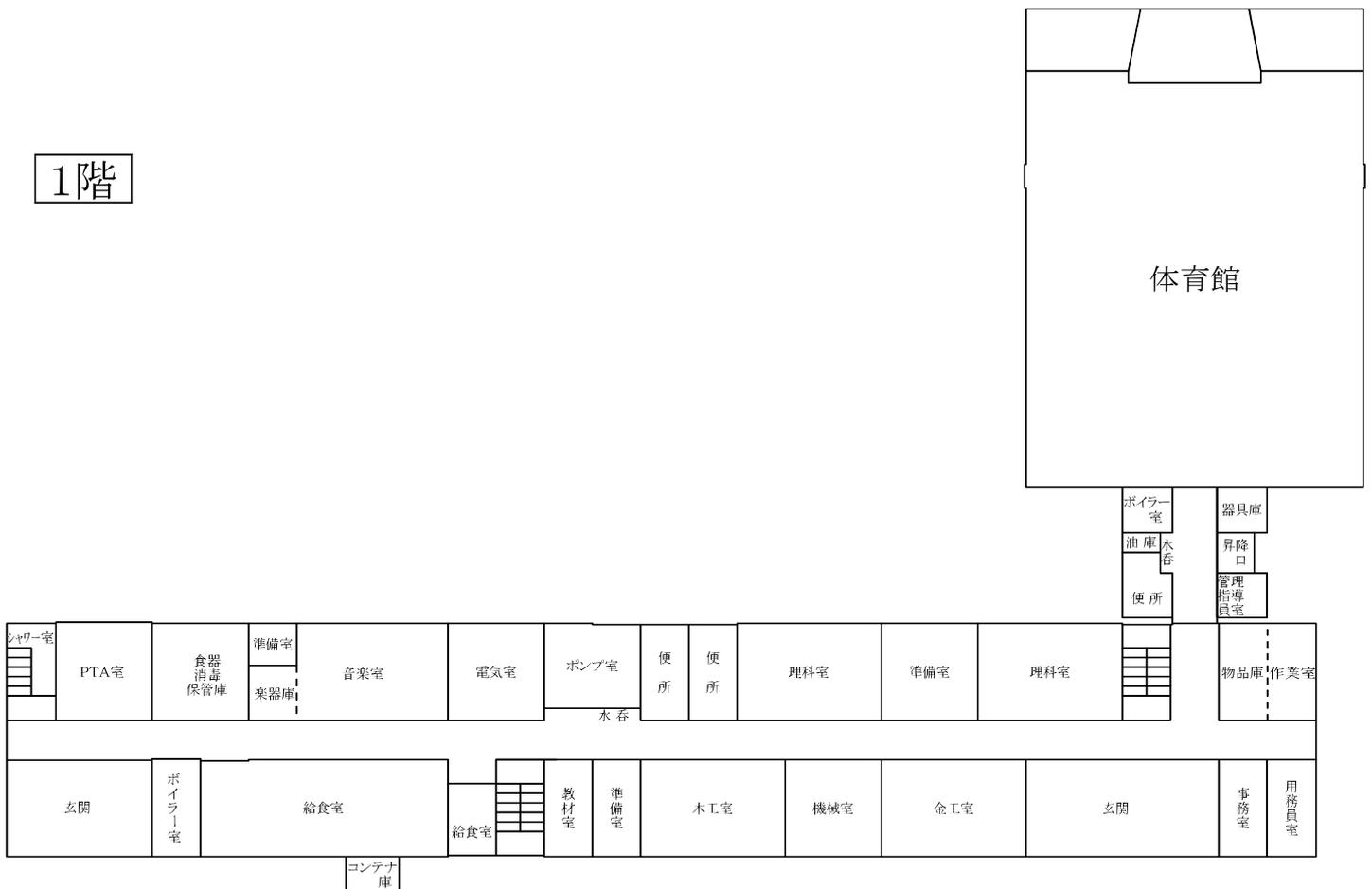
## 3階



## 2階



## 1階



## II 一般市民利用施設

### 3. 区民センター

#### ■基本情報

名 称	区民センター	
用途区分	一般市民利用施設（コミュニティ施設）	
所 管	各区市民部総務企画課、地域振興課 市民まちづくり局地域振興部区政課	
設置根拠条例	札幌市区民センター条例	
設置目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与するため	
運営形態	指定管理者 ○北区民センター：特定非営利活動法人ワーカーズコープ ○北区民センター以外の区民センター：一般社団法人札幌市区民センター運営委員会	
開館日数・時間	359 日/年 9:00～21:00 ※利用者から希望がある場合は 22:00 まで	
建築年数	23 年～39 年 半数以上の施設が築 30 年以上	
延床面積	2,800 m <sup>2</sup> ～3,500 m <sup>2</sup>	
主な施設の構成	事務室、会議室、市民ロビー、区民ホール、図書室、調理等実習室	
施設の配置基準	各区に 1 館設置（計 10 館）	

### 4. コミュニティセンター

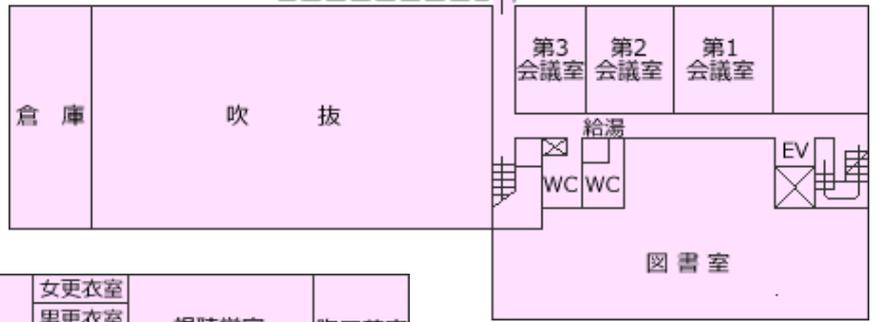
#### ■基本情報

名 称	コミュニティセンター	
用途区分	一般市民利用施設（コミュニティ施設）	
所 管	各区市民部総務企画課、地域振興課 市民まちづくり局地域振興部区政課	
設置根拠条例	札幌市区民センター条例	
設置目的	既存の区民センターを利用しづらい遠隔の地域に、区民センターの機能を補完し、地域における住民の自主的な活動を促進するための施設として設置	
運営形態	指定管理者 ○篠路コミュニティセンター：特定非営利活動法人ワーカーズコープ ○手稲コミュニティセンター：札幌市手稲コミュニティセンター運営委員会	
開館日数・時間	359 日/年 9:00～21:00 ※利用者から希望がある場合は 22:00 まで	
建築年数	28 年	
延床面積	2,000 m <sup>2</sup> 程度	
主な施設の構成	事務室、会議室、市民ロビー、ホール、図書室、調理等実習室	
施設の配置基準	北区、手稲区のみを設置（計 2 館）	

# 豊平区民センター

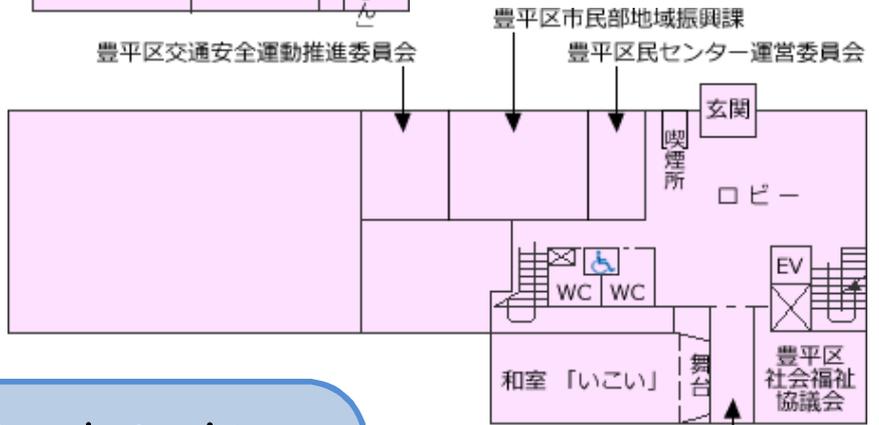
渡り廊下で区役所庁舎へ

**3F**



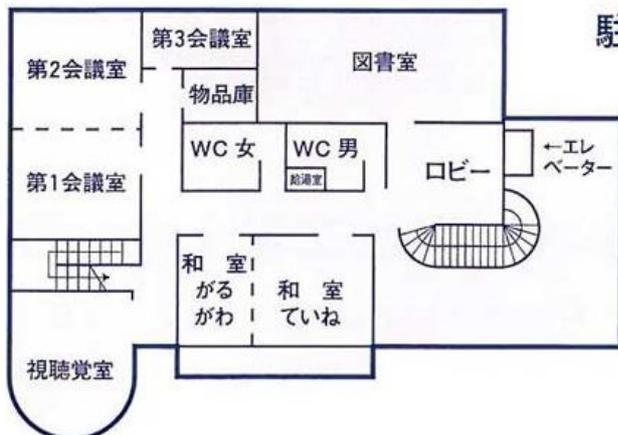
**2F**

**1F**

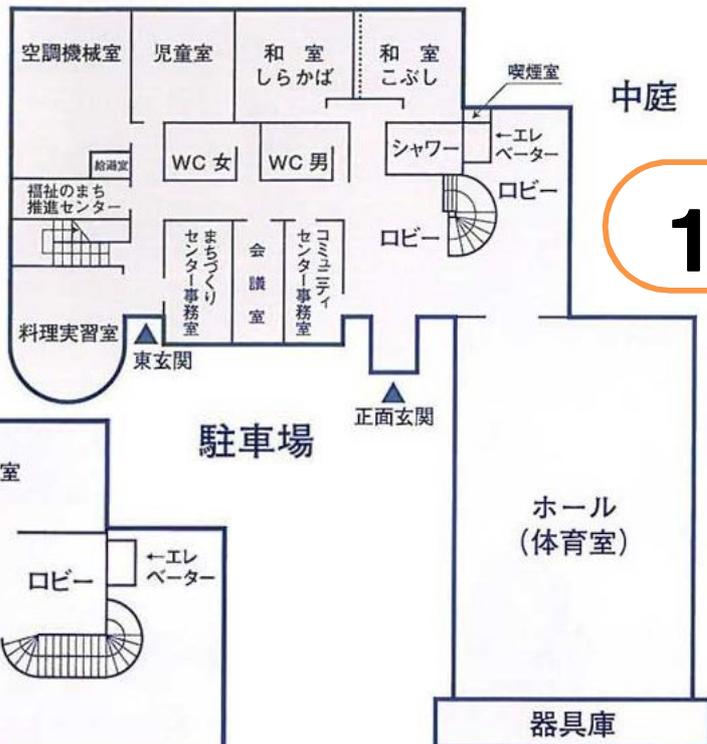


# 手稲コミュニティセンター

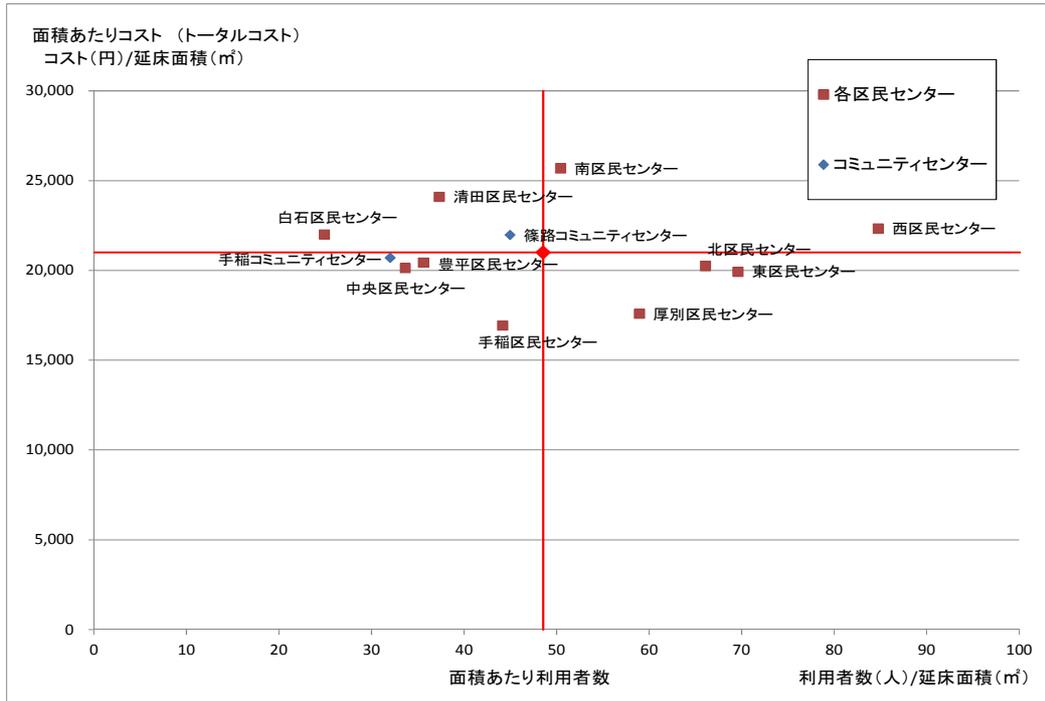
**2F**



**1F**

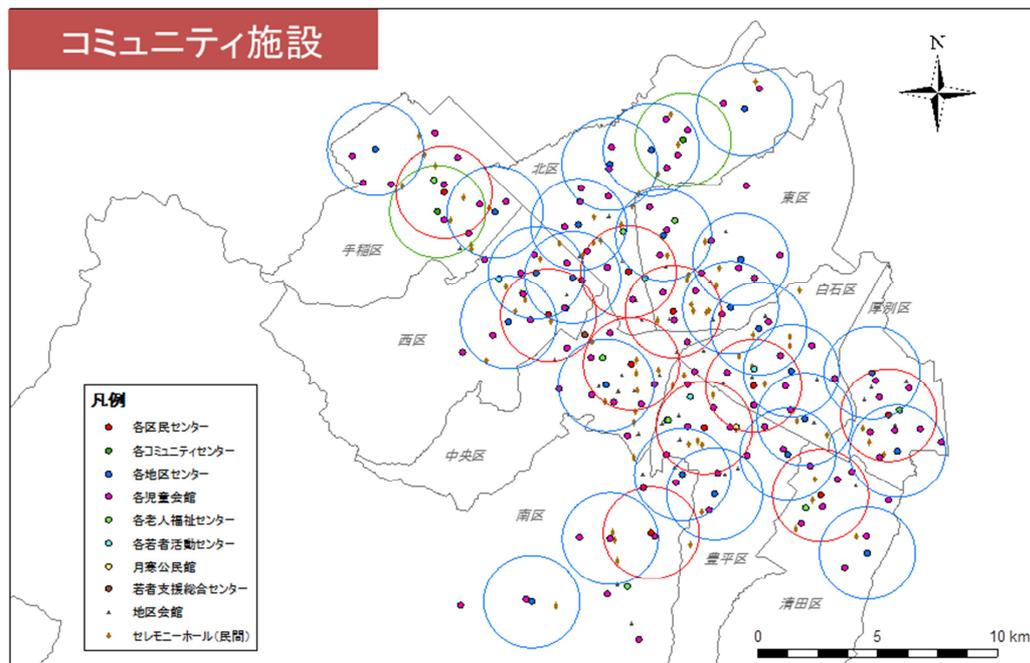


■ 利用・コスト評価 (H24 年度基礎的調査より)



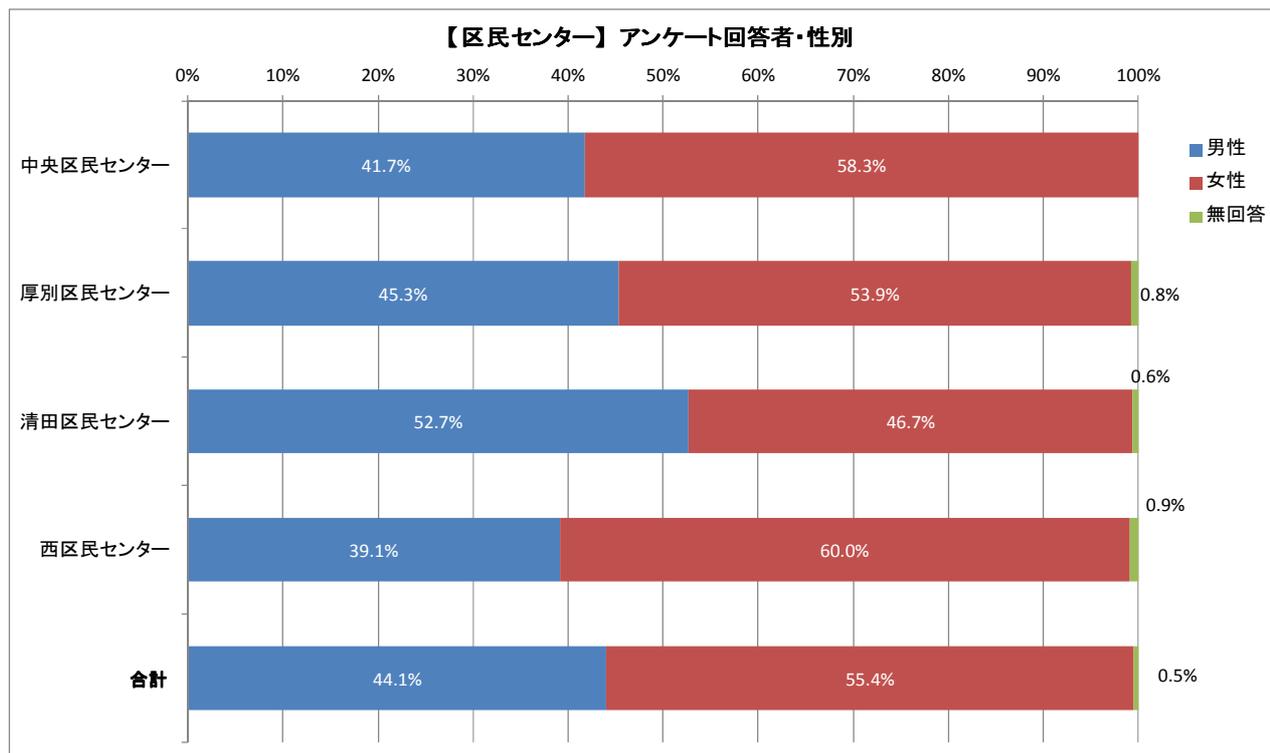
- 面積あたりコストは各施設とも同程度。
- 面積あたり利用者数にはバラツキがあり、3倍程度の開きがある。

■ 類似施設調査 (H24 年度基礎的調査より)

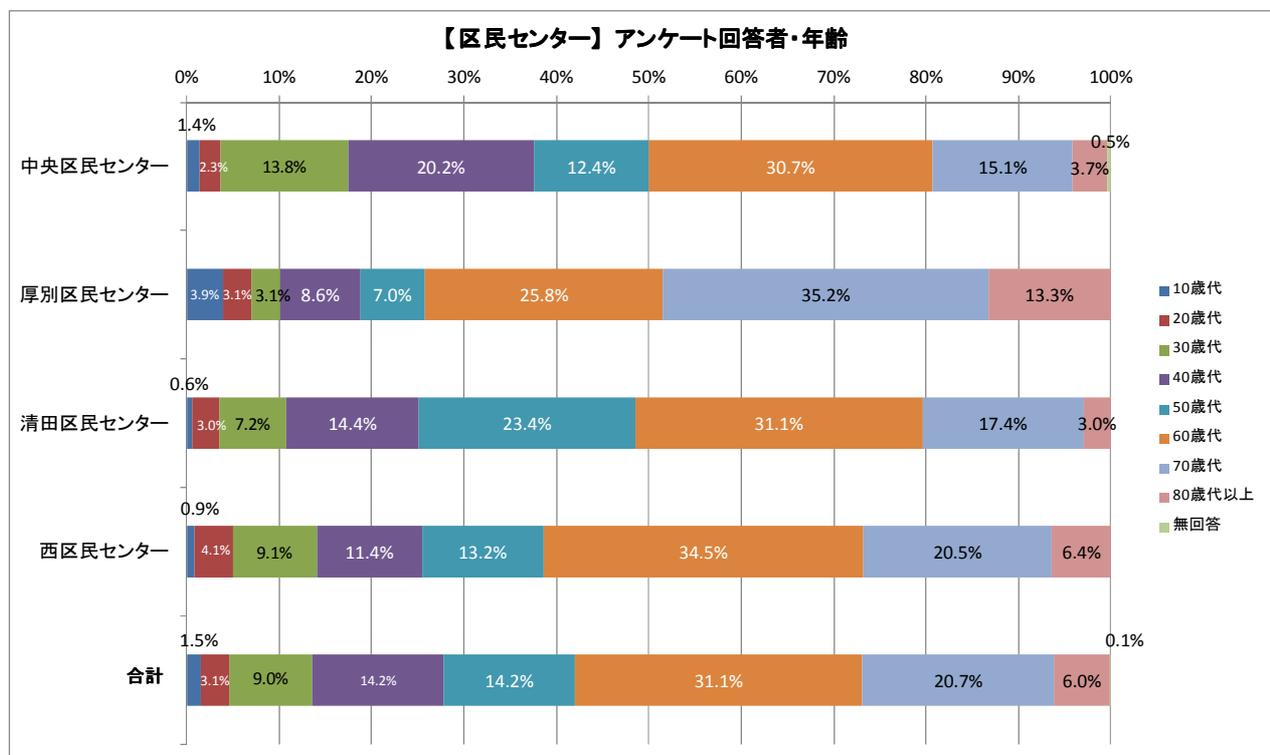


- 2km 圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設(コミュニティ施設、児童会館等)が多数あり。
- 民間のセレモニーホールも 1 施設以上あり。

■利用者アンケート（H24 年度基礎的調査より）

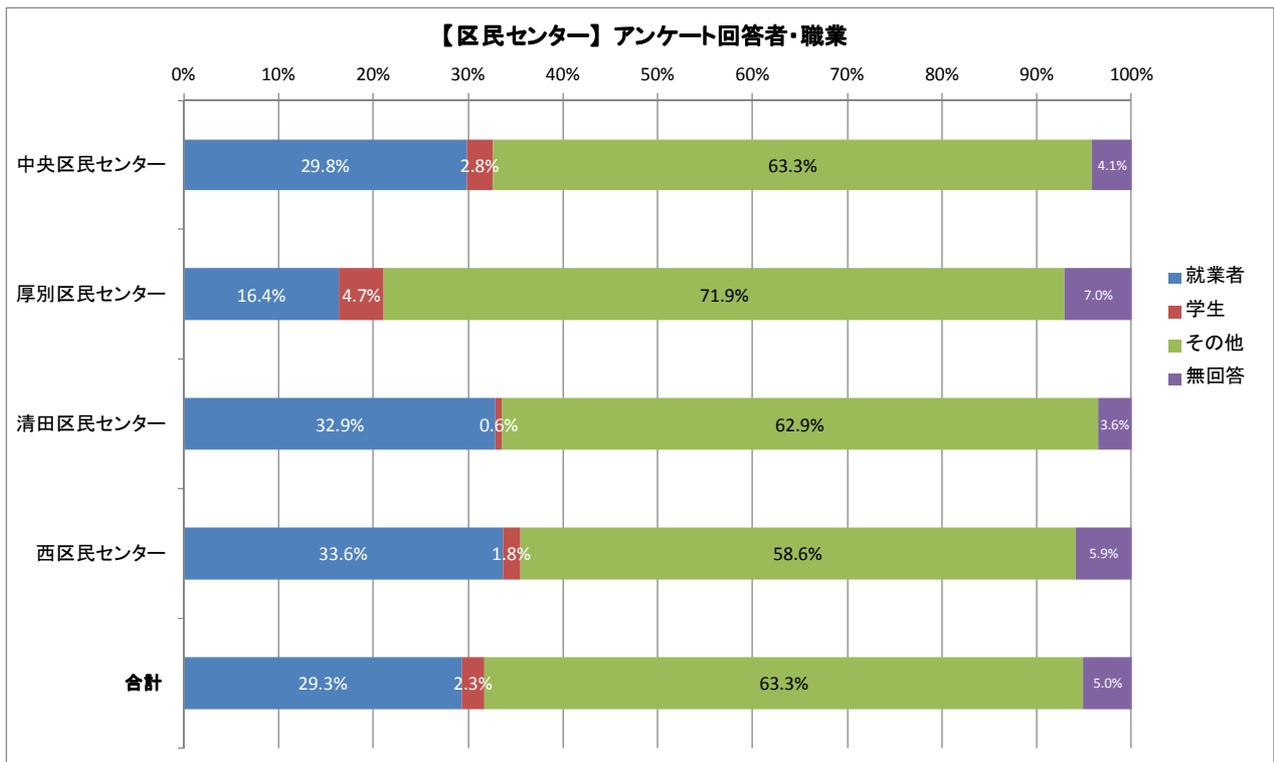


➤ 「女性」の利用が比較的多い。

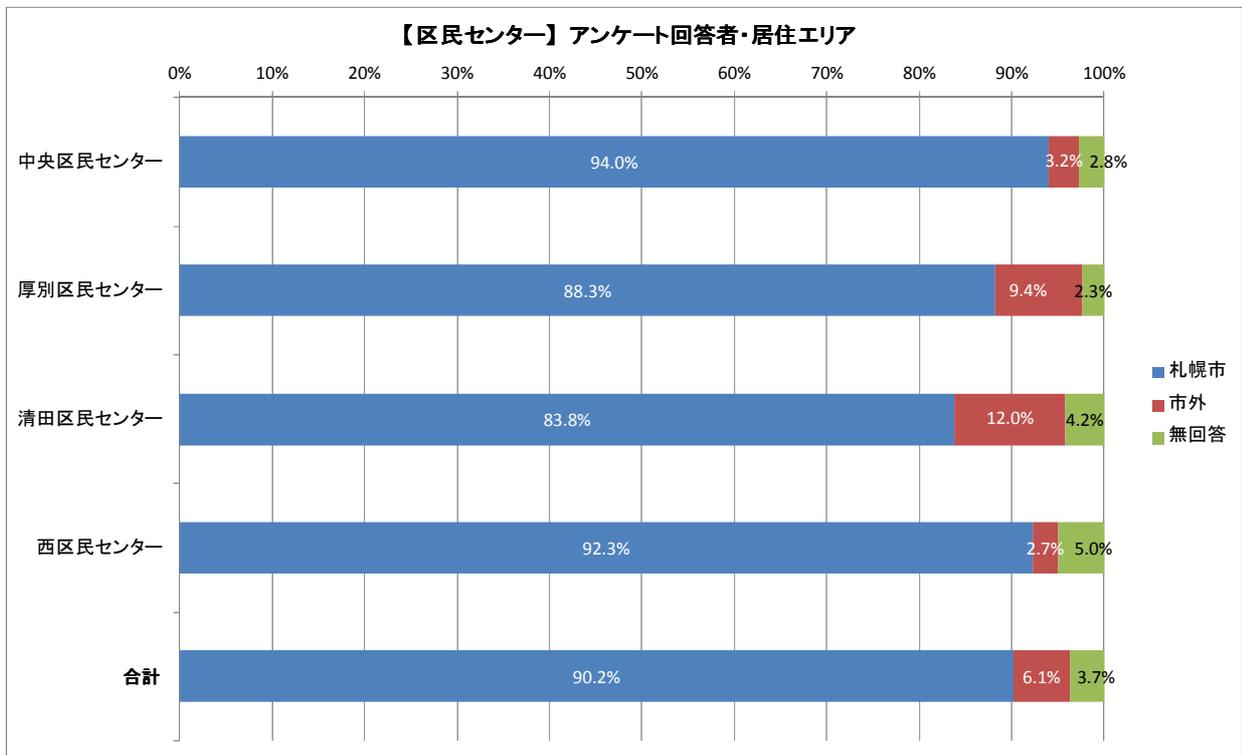


➤ 「60歳代」、「70歳代」の利用が多い。

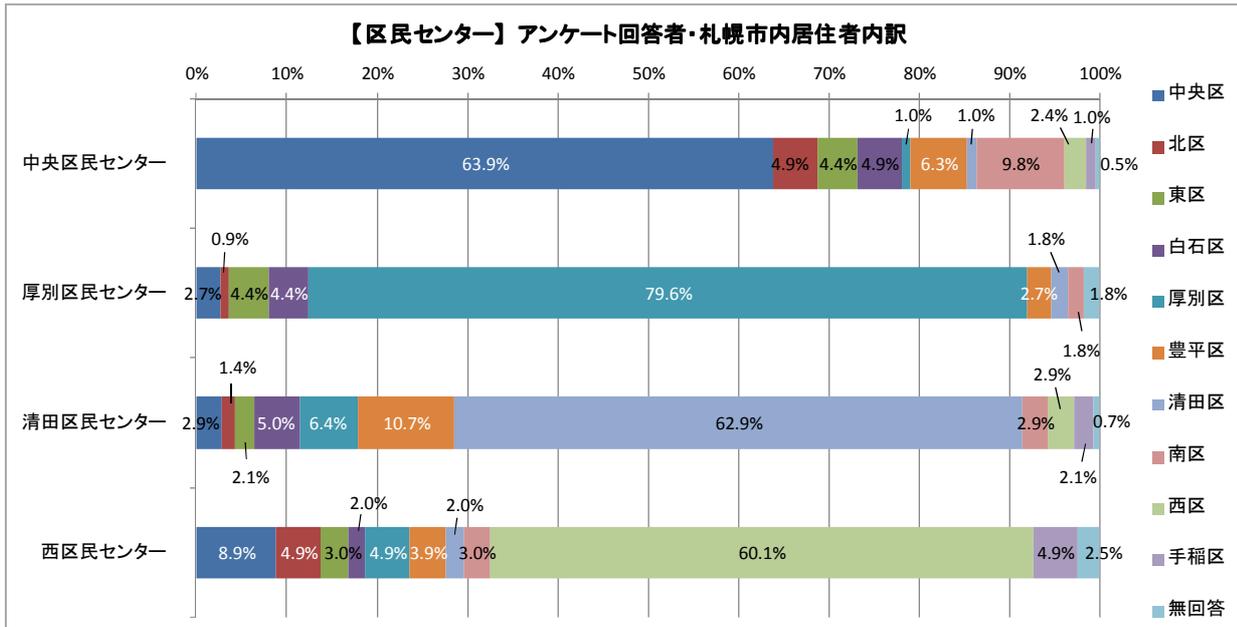
➤ 厚別区民センターでは「70歳代」の利用が最多であり、60歳以上の利用が7割超となっている。



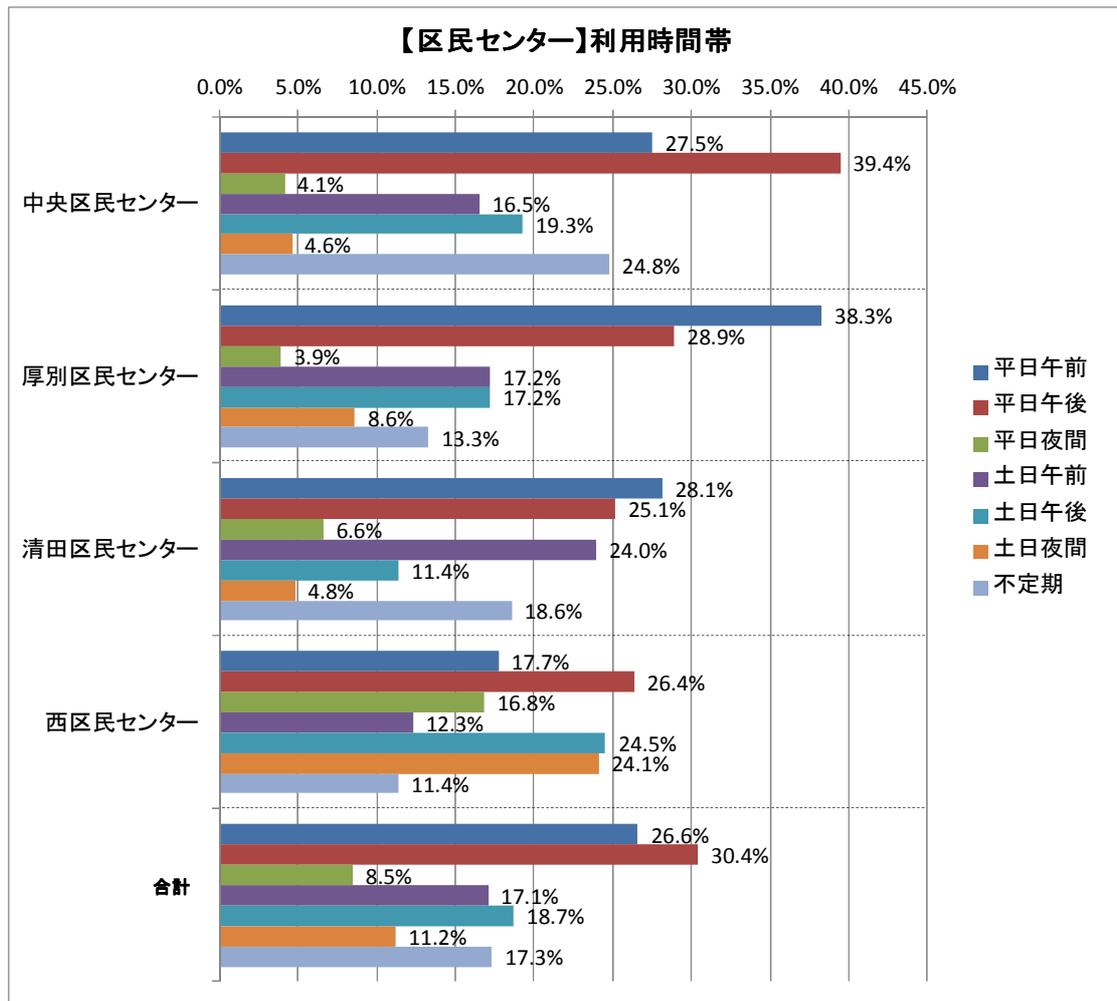
➤厚別区民センターを除き、「就業者」は概ね30%前後。「その他」が過半を占めている。



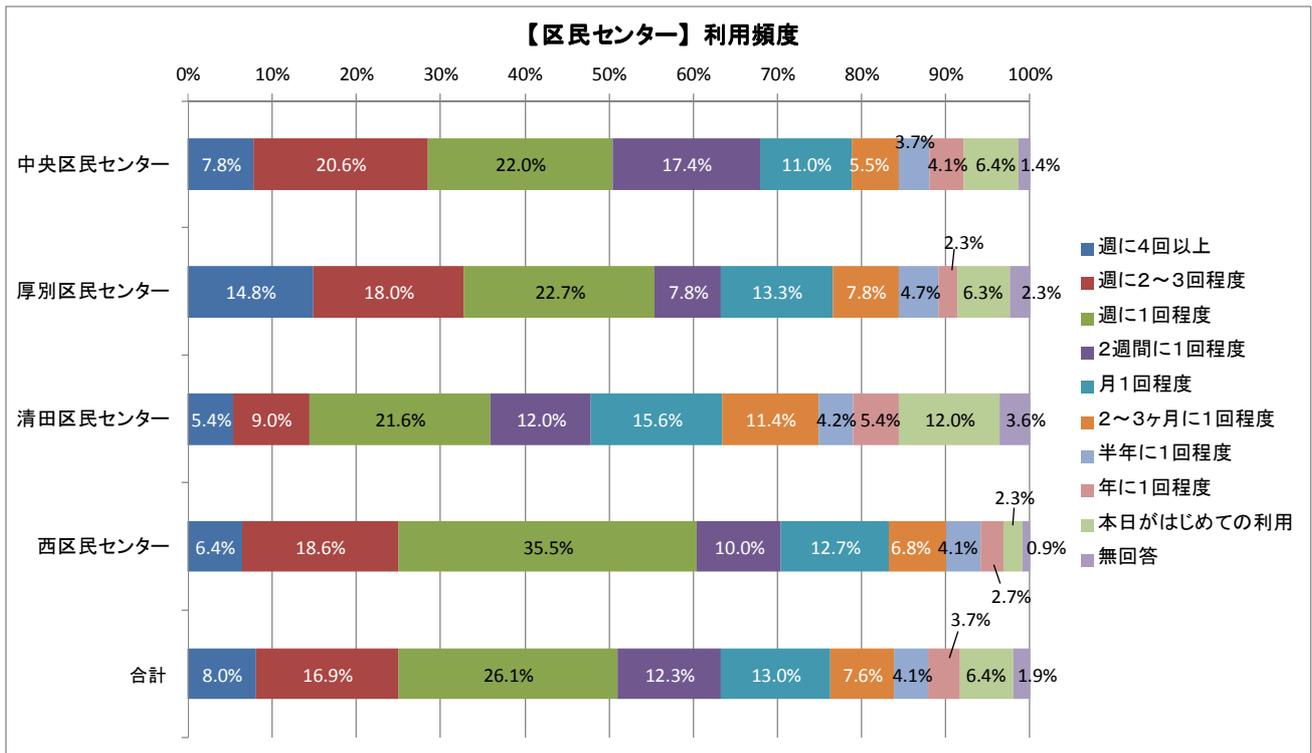
➤札幌市居住者が大半を占めている。



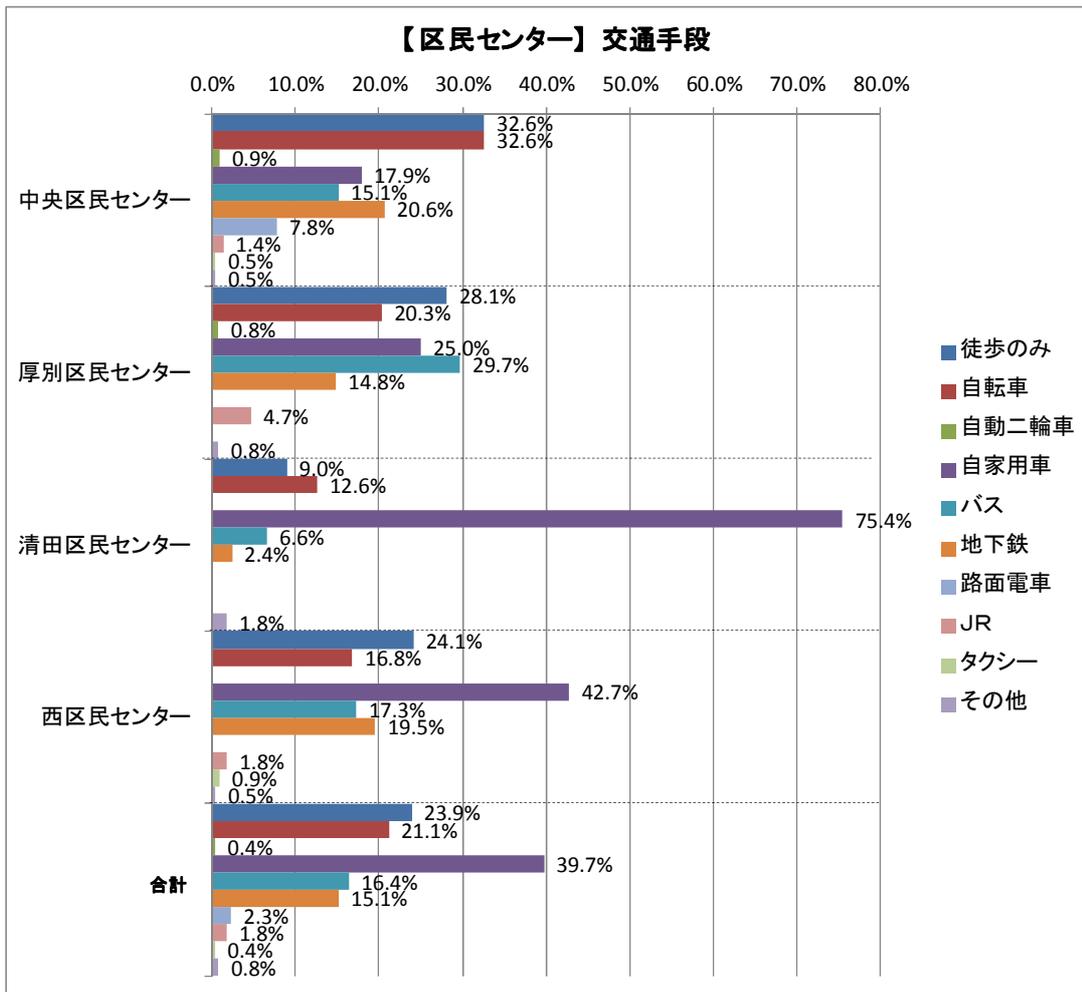
➢中央区、清田区、西区は自区の利用が6割程度に過ぎず、それぞれ隣接する「南区」、「豊平区」、「中央区」からの利用が多い。



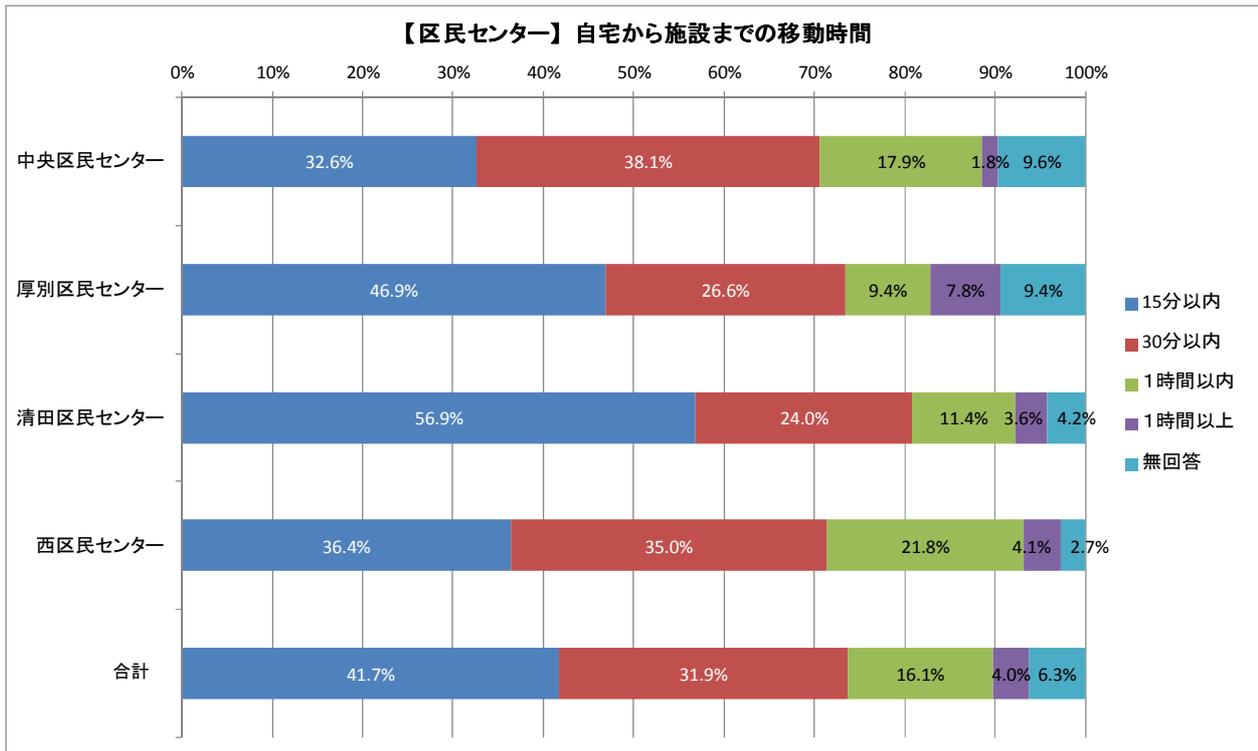
➢合計では平日の利用が多い。  
 ➢中央は「不定期」、清田は「土日午前」、西は「土日午後」や「土日夜間」の利用も多い。



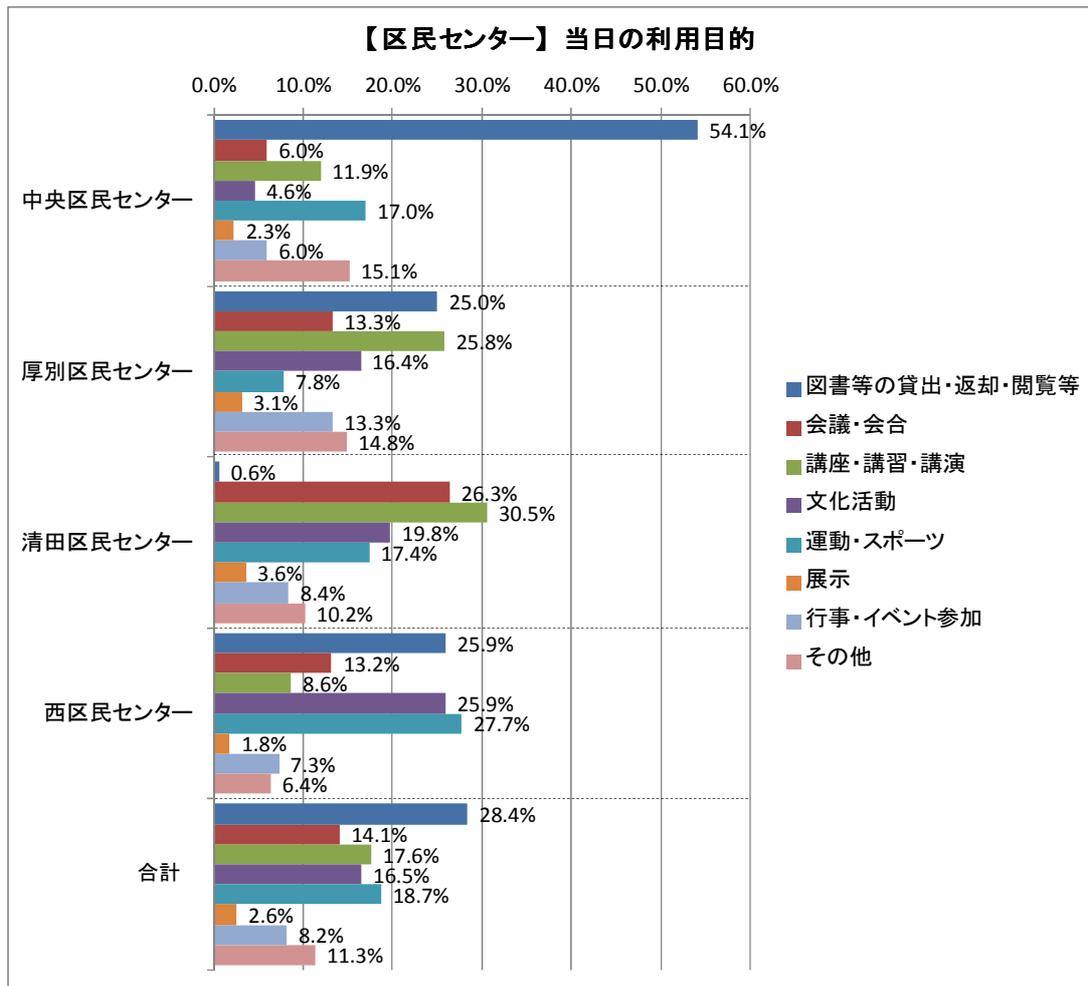
➤合計で見ると、週1回以上の利用が過半数を占めている。

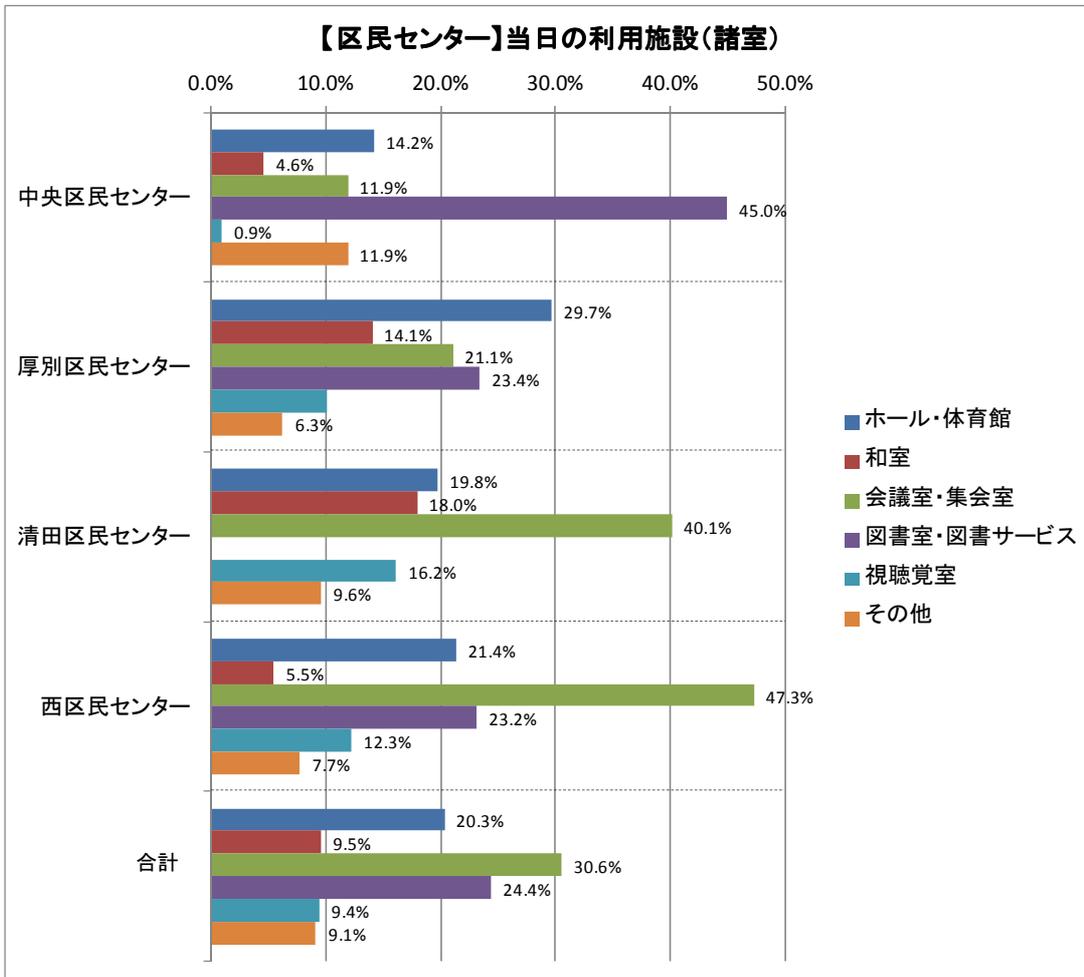
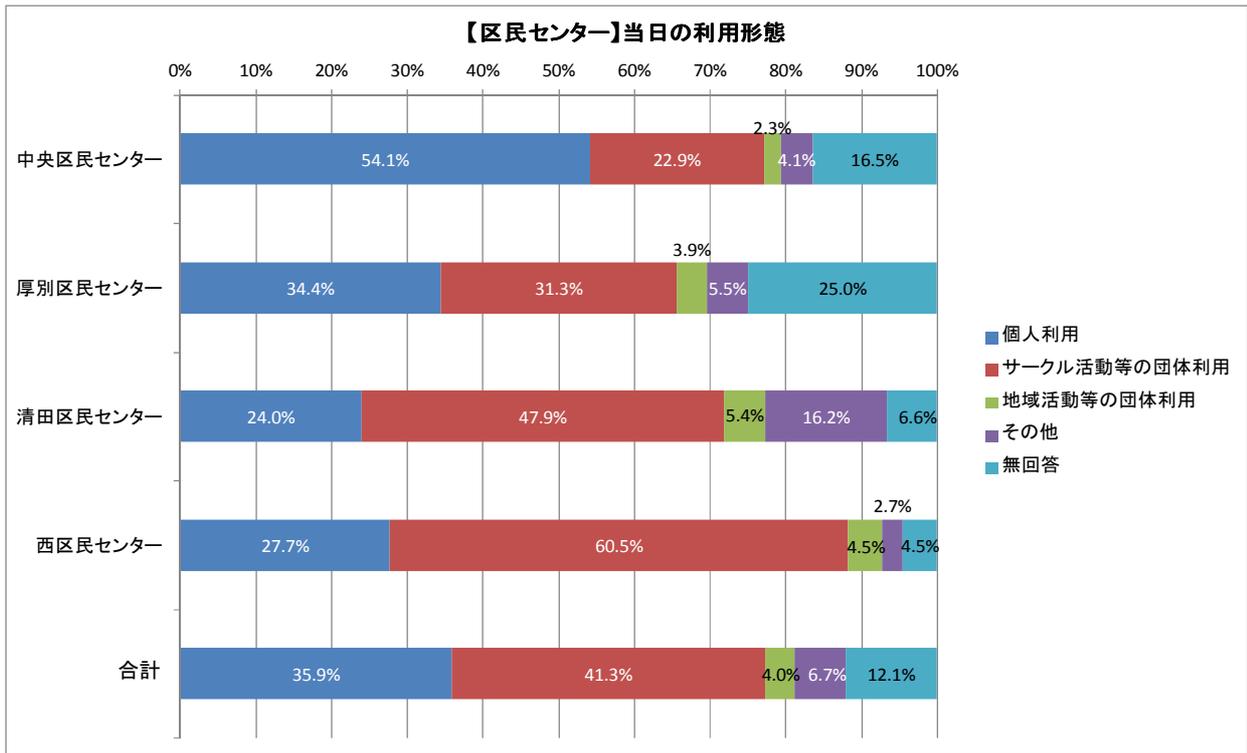


➤合計では「自家用車」が40%弱で最多、次いで公共交通機関が計35%程度。  
 ➤中央、厚別では公共交通機関が「自家用車」を上回る。  
 ➤清田では「自家用車」が75%以上で最多。

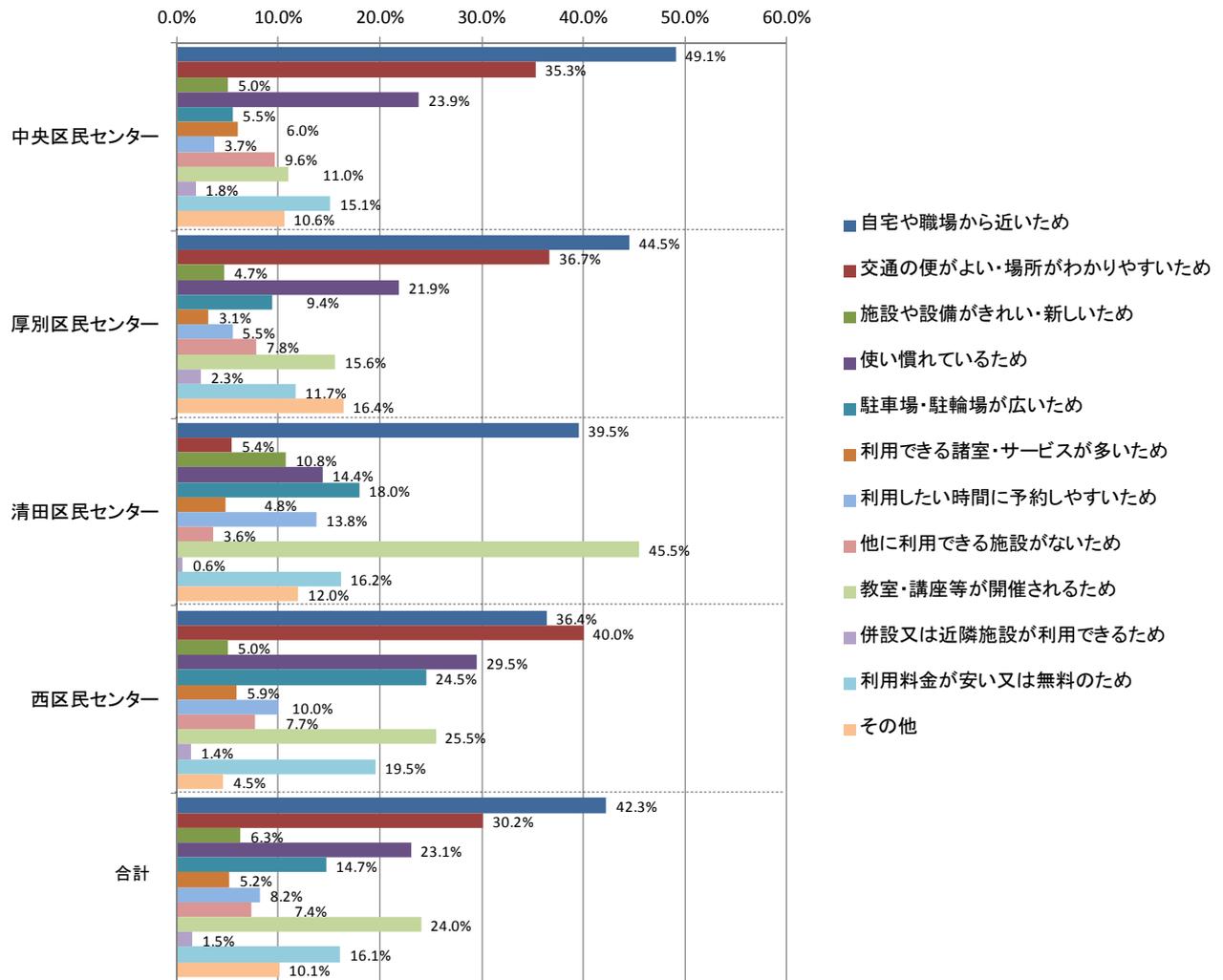


➤ 「15分以内」と「30分以内」で70%以上を占めている。清田区は「15分以内」が特に多い。





【区民センター】当日利用した区民センターを利用する理由



- 合計では、最も多い利用目的は「図書の貸出・返却・閲覧」であり、「会議・会合」、「講座・講習・講演」、「文化活動」、「運動・スポーツ」が14~19%程度で同程度となっている。
- 利用形態は「サークル活動等の団体利用」が最多。(地区センターでは「個人利用」が最多。)
- 利用施設は「図書室・図書サービス」も多いが、利用目的に対応して「ホール・体育館」や「会議室・集会室」の利用も多い。
- 当日利用した区民センターを利用する理由としては、「自宅や職場から近い」が最多であり、次いで「交通の便がよい・場所がわかりやすい」となっている。交通手段で「自家用車」が最多となっている清田、西では、中央、厚別と比較して「駐車場・駐輪場が広い」が多くなっている。

## 5. 地区センター

### ■基本情報

名 称	地区センター	
用途区分	一般市民利用施設（コミュニティ施設）	
所 管	各区市民部総務企画課、地域振興課 市民まちづくり局地域振興部区政課	
設置根拠条例	札幌市区民センター条例	
設置目的	区民センターの機能を補完し、地域における住民の自主的な活動を促進するための施設として設置	
運営形態	指定管理者 ○各地区センター運営委員会（16 施設） ○特定非営利活動法人ワーカーズユープ（6 施設） ○特定非営利活動法人太平百合が原ブリッジ（1 施設） ○たくあいふれあいセンター（コンソーシアム）（1 施設）	
開館日数・時間	357～359 日/年 9:00～21:00 ※利用者から希望がある場合は 22:00 まで	
建築年数	6 年～28 年 半数以上の施設が築 20 年以内	
延床面積	1,200 m <sup>2</sup> 程度	
主な施設の構成	事務室、会議室、市民ロビー、ホール、図書室、調理等実習室	
施設の配置基準	概ね 2～3 連合町内会に 1 館設置（計 24 館）	

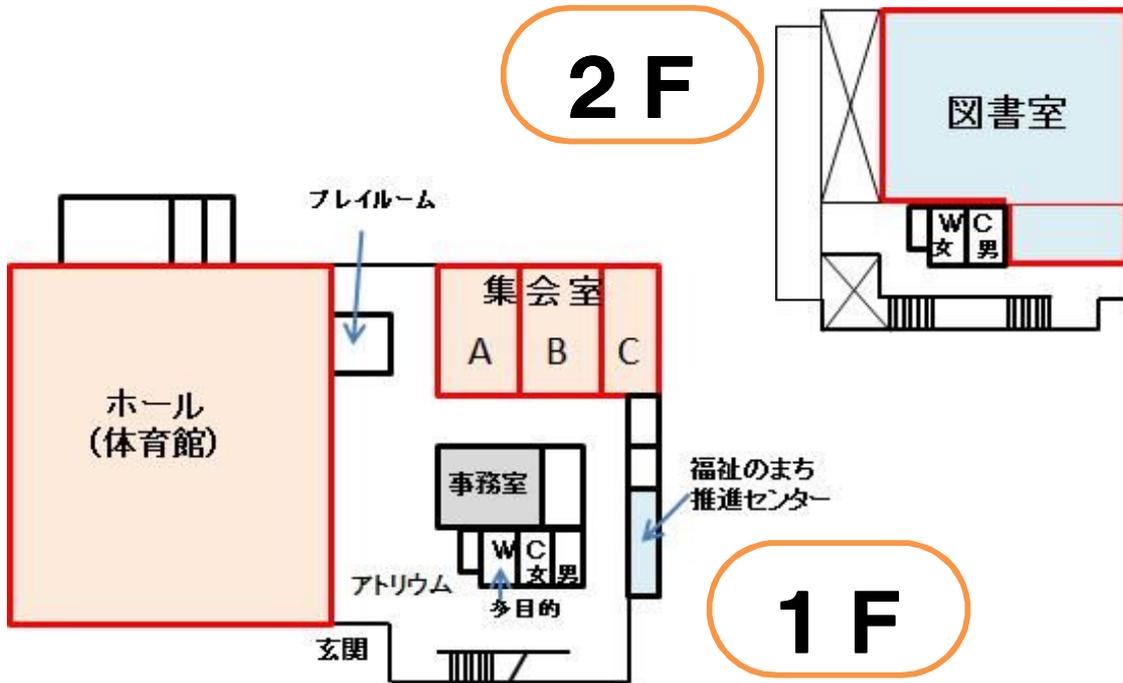
## 6. 公民館

### ■基本情報

名 称	月寒公民館	
用途区分	一般市民利用施設（コミュニティ施設）	
所 管	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課	
設置根拠条例	札幌市公民館条例	
設置目的	地域住民のため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行うことにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため	
運営形態	指定管理者 ○札幌市月寒公民館運営委員会	
開館日数・時間	359 日/年 8:45～21:00	
建築年数	築 39 年（建築年度：1974 年）	
延床面積	1,907 m <sup>2</sup>	
主な施設の構成	事務室、会議室、体育室、図書室、調理等実習室	
施設の配置基準	市内に 1 施設のみ設置	

# はちけん地区センター

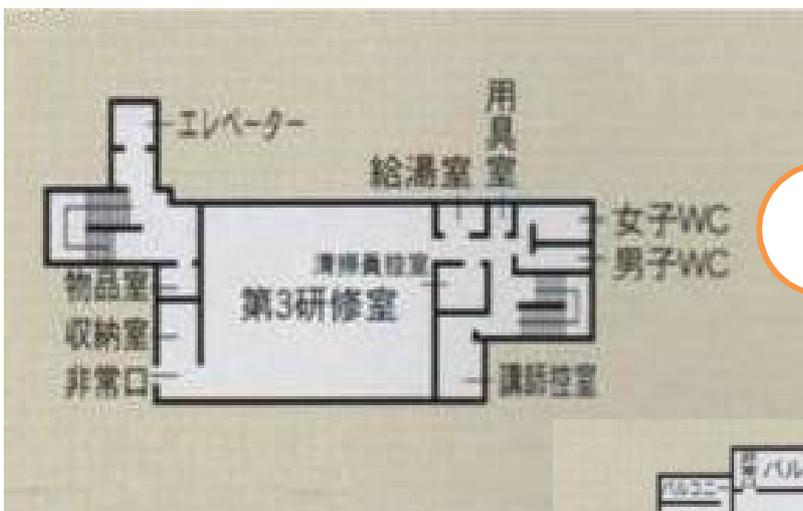
2F



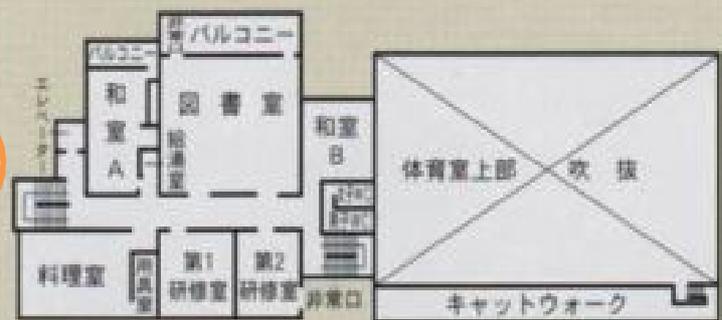
1F

# 月寒公民館

3F



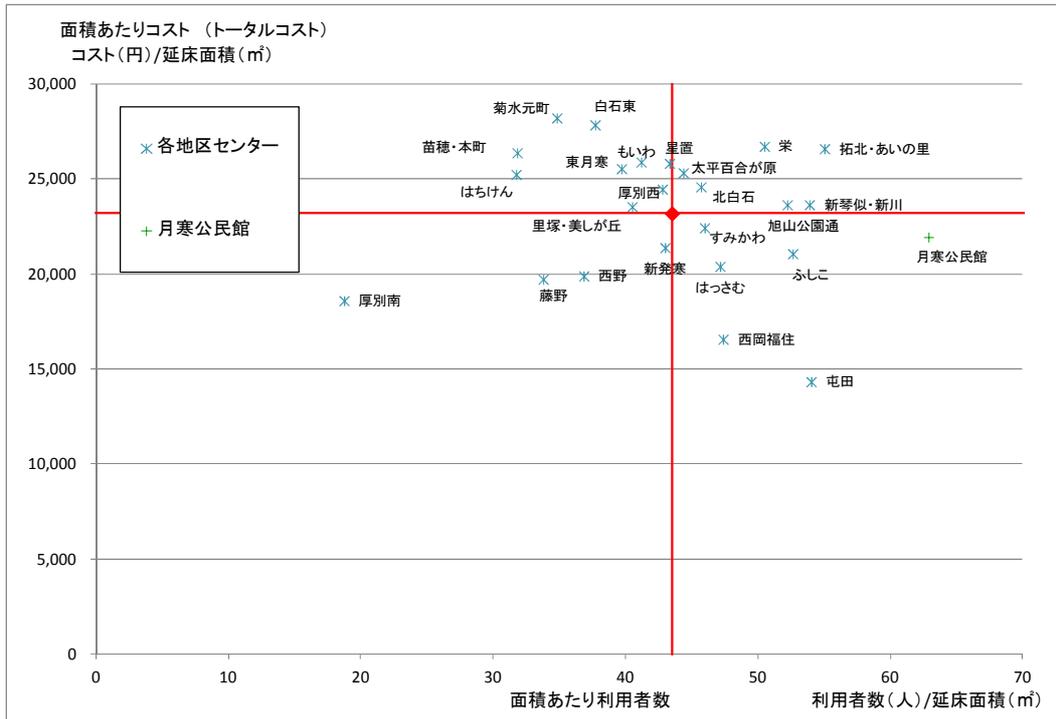
2F



1F

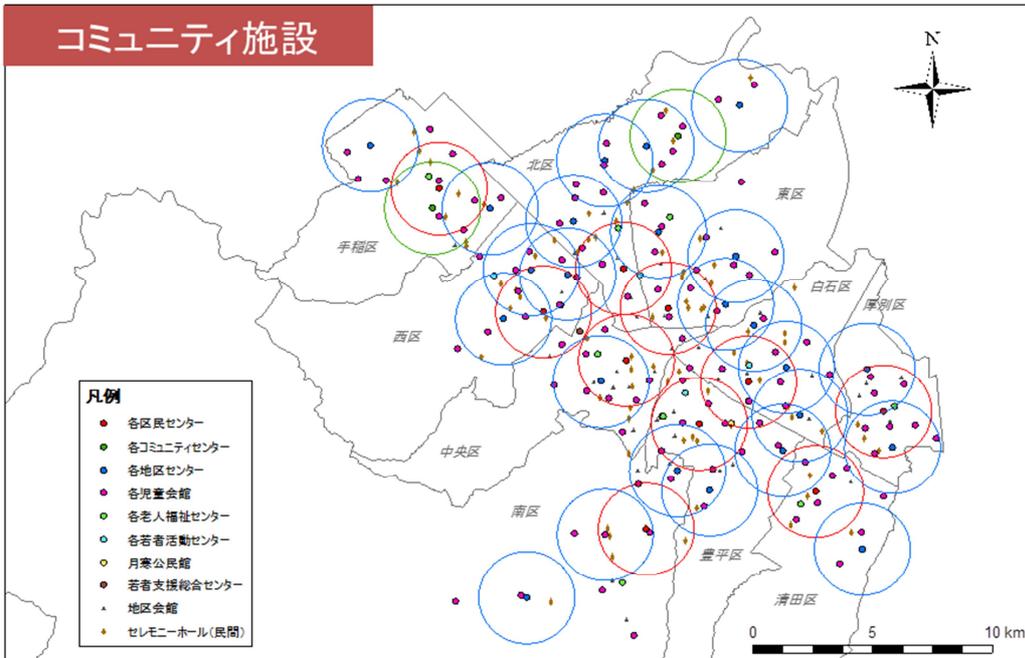


■ 利用・コスト評価（H24 年度施設現況調査より）



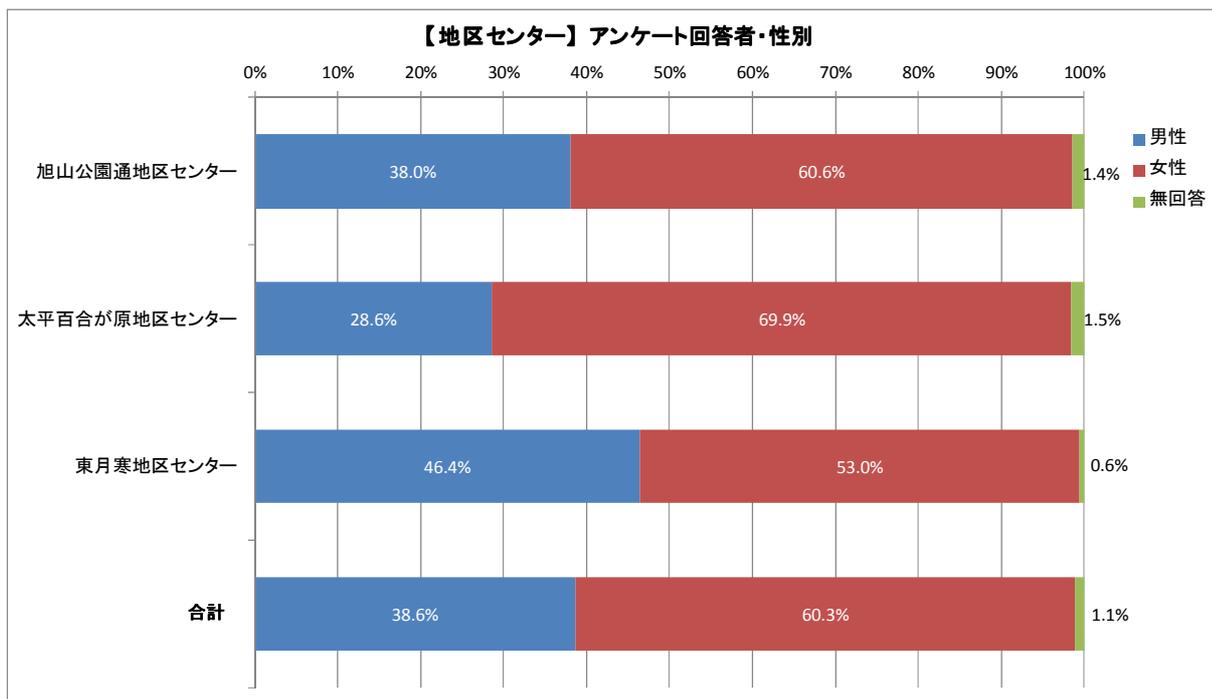
- 面積当たりコストは、一部の施設を除くとほぼ同程度。
- 面積当たり利用者数にはバラツキがあり、3倍程度の開きがある。

■ 類似施設調査（H24 年度基礎的調査より）

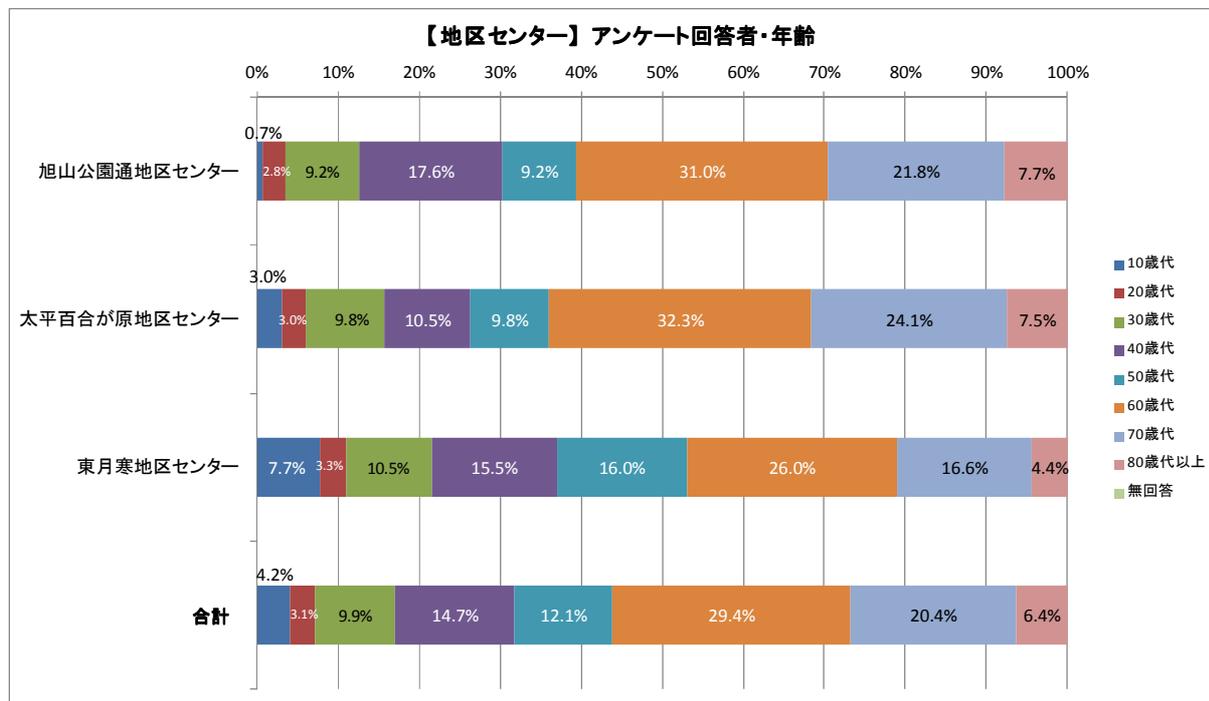


- 2km 圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設(コミュニティ施設、児童会館等)が多数あり。
- 民間のセレモニーホールも 1 施設以上あり。

■利用者アンケート（H24 年度基礎的調査より）

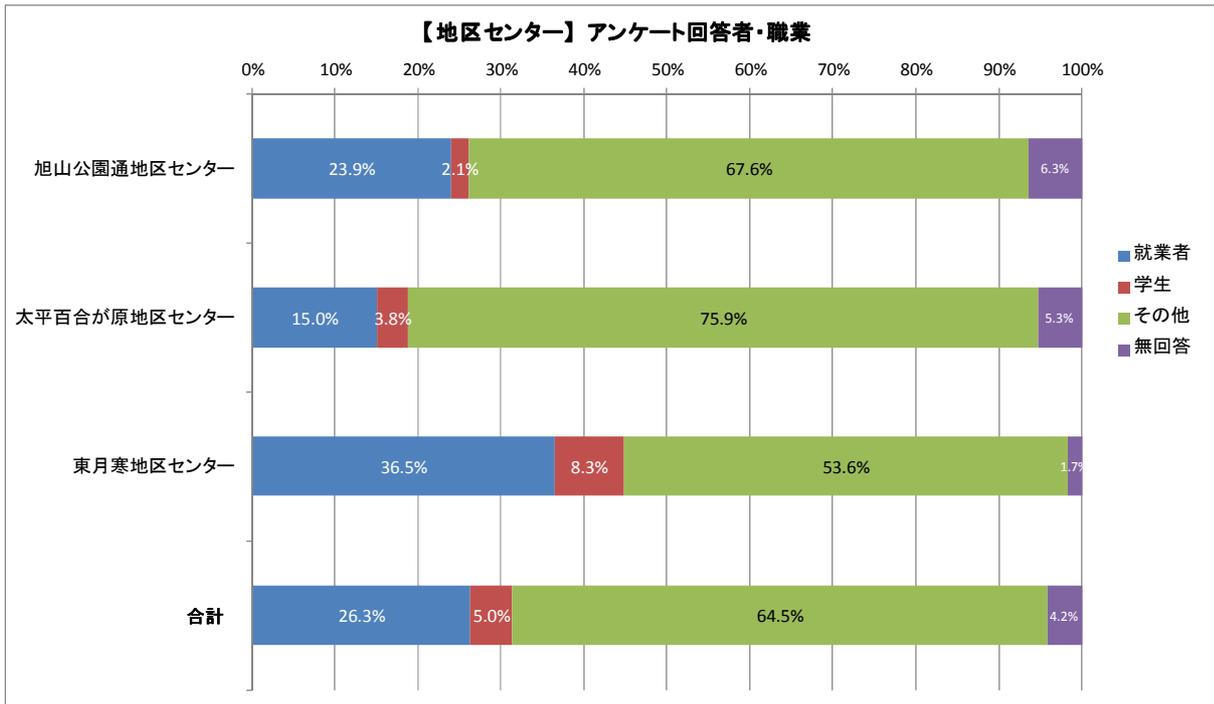


➤ 「女性」の利用が比較的多い。

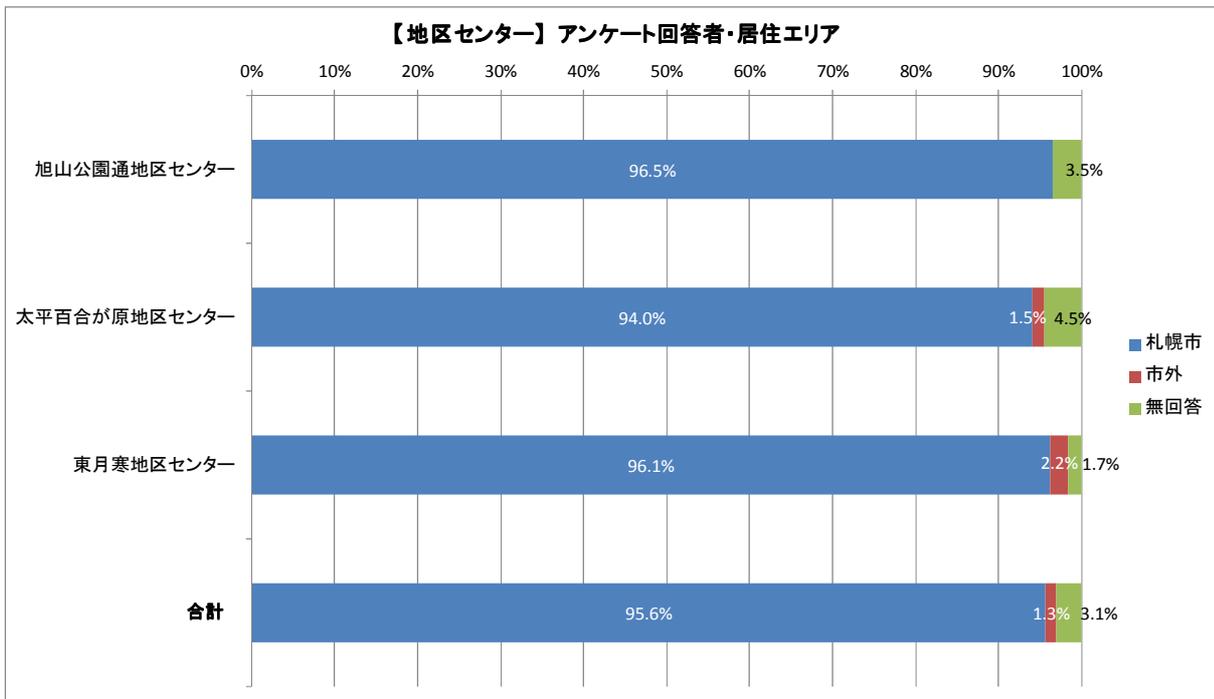


➤ 「60 歳代」、「70 歳代」の利用が多い。

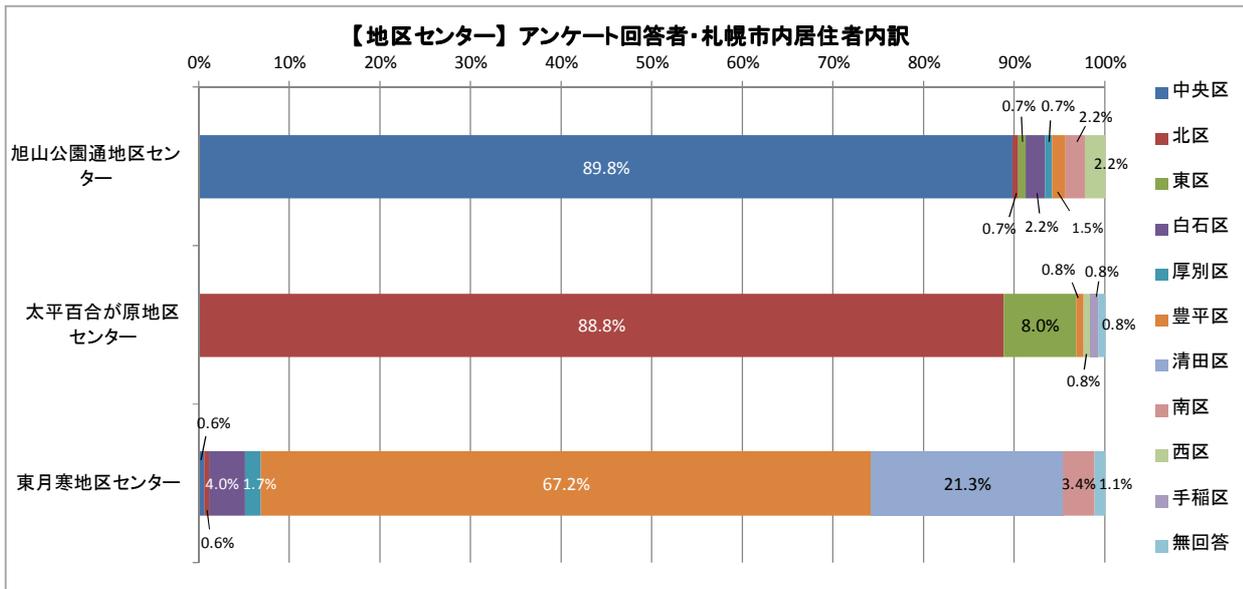
➤ 東月寒地区センターでは、50 歳代以下の利用者も比較的多い。



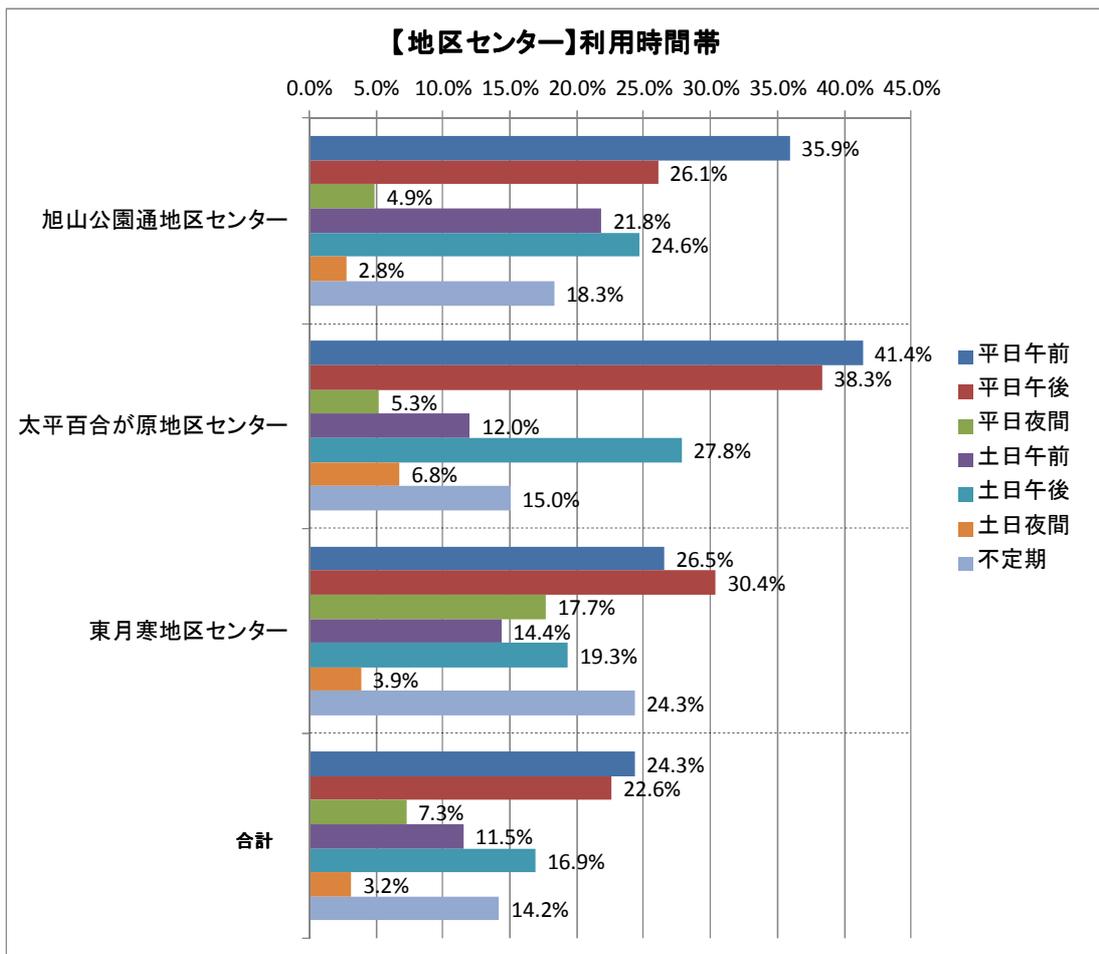
- 合計では「就業者」、「学生」の割合が3割程度となっている。
- 「就業者」、「学生」の割合は東月寒地区センターで約45%と、他の施設より高くなっている。



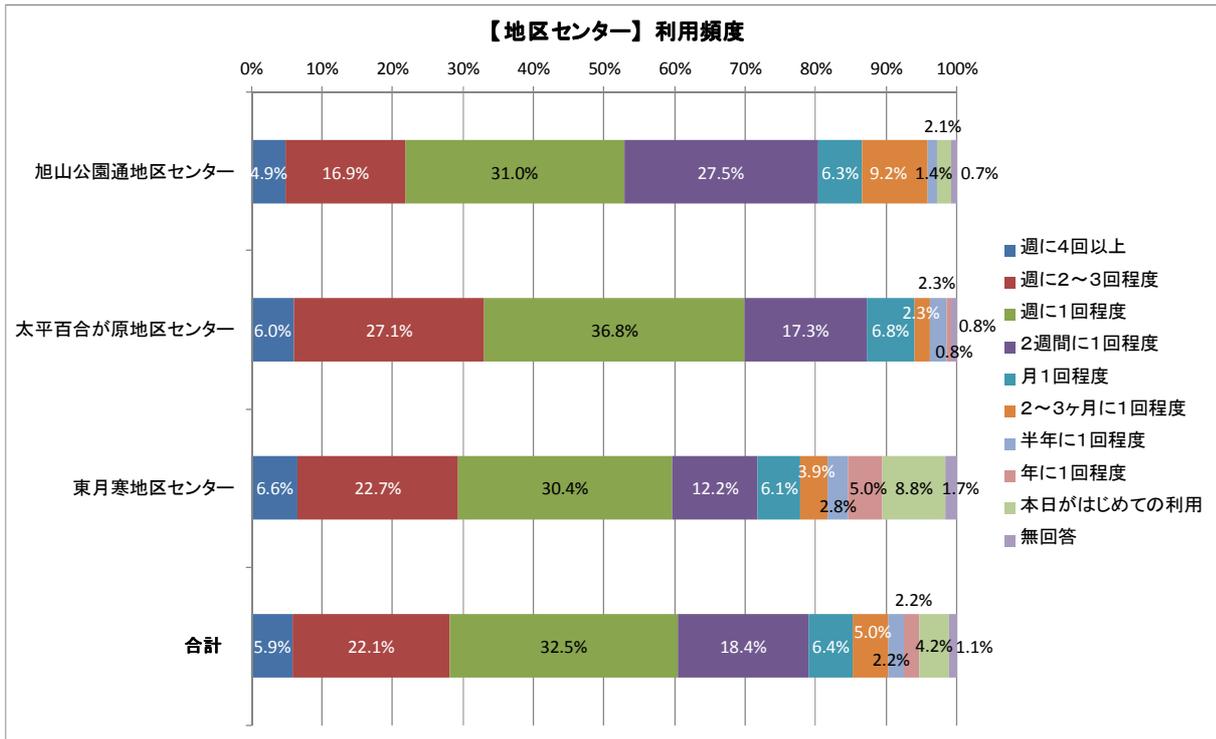
- 札幌市居住者が大半を占めている。



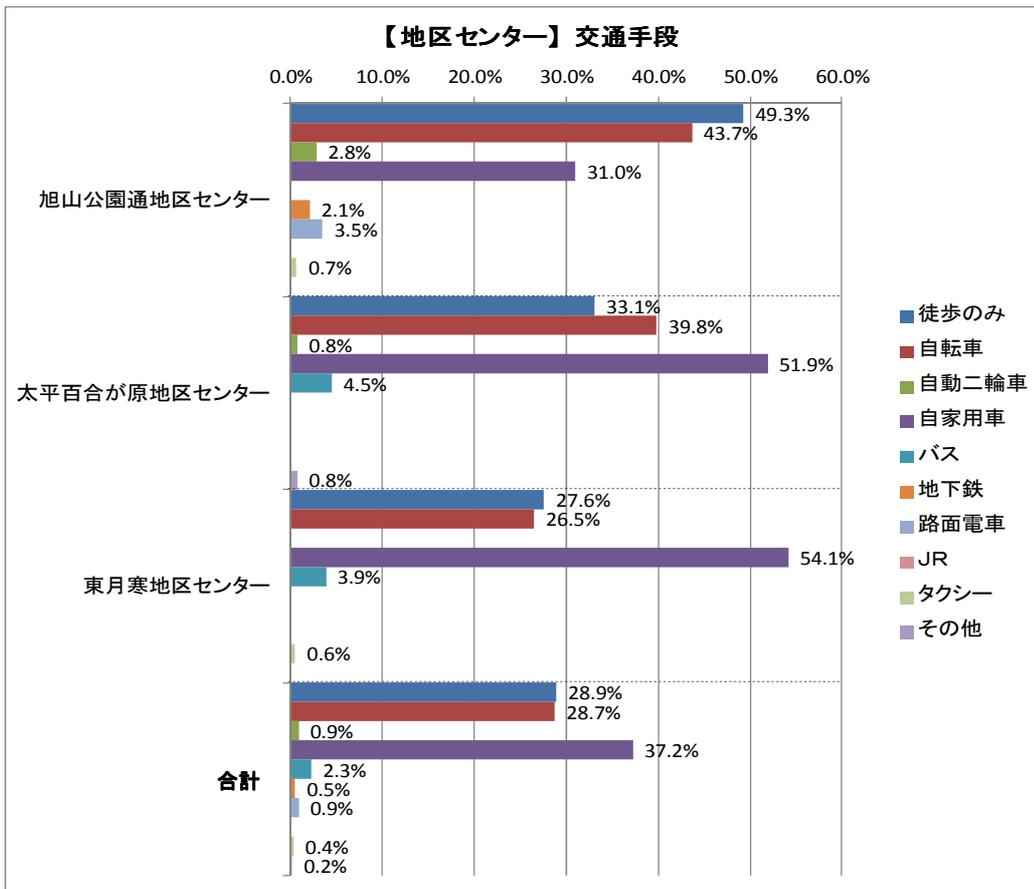
- 総じて施設所在区が大半を占め、次いで隣接区居住者の利用が多い傾向にある。
- 東月寒地区センターでは、「清田区」からの利用者が20%以上となっている。



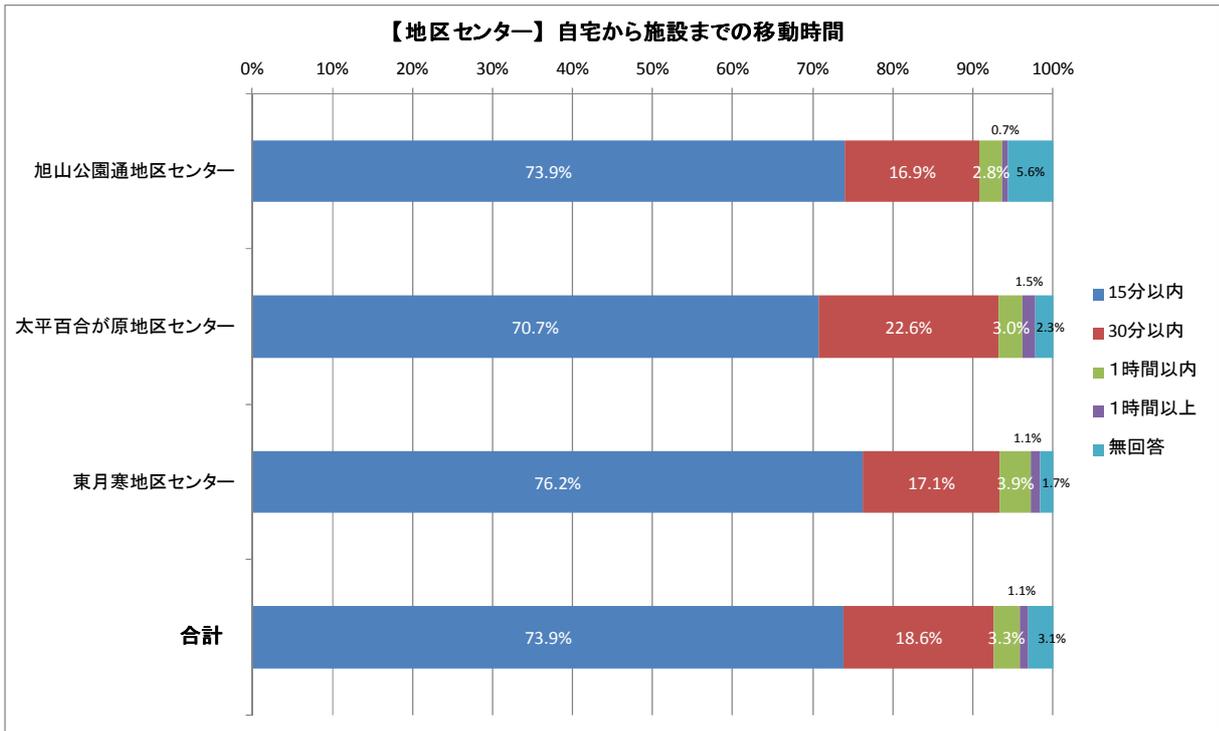
- 「平日午前」、「平日午後」の利用が多い。
- 東月寒地区センターでは、「平日夜間」や「不定期」の利用も比較的多い。



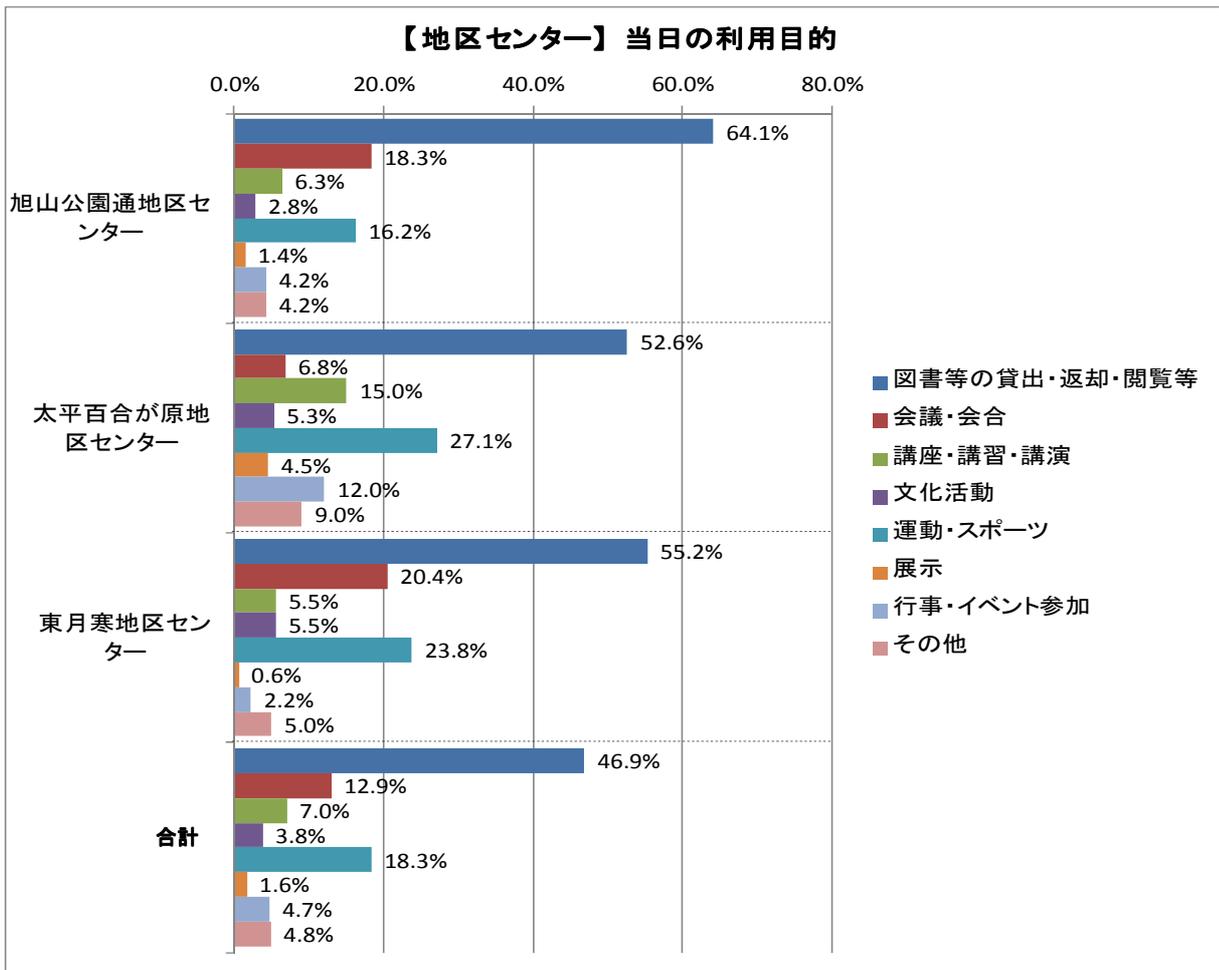
- 利用頻度はいずれも「週に1回程度」が最多となっている。
- 合計でみると、週1回以上の利用が60%程度を占めている。



- 「自家用車」に次いで「徒歩のみ」、「自転車」が多く、公共交通機関の利用は少ない。
- 太平百合が原地区センター、東月寒地区センターでは、半数以上が「自家用車」を選択している。



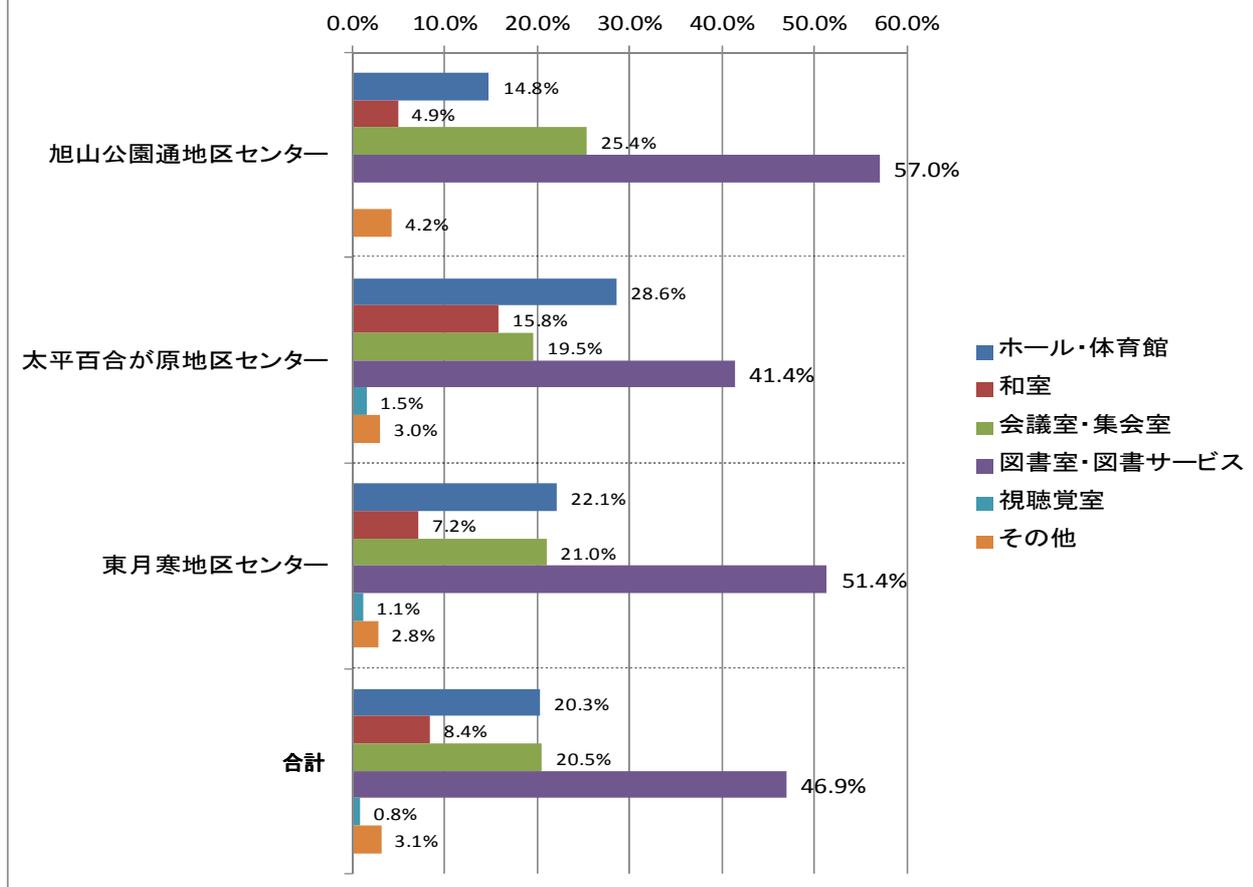
➤ 「15分以内」が70%以上を占めている。「30分以内」まで含めると90%を超える。

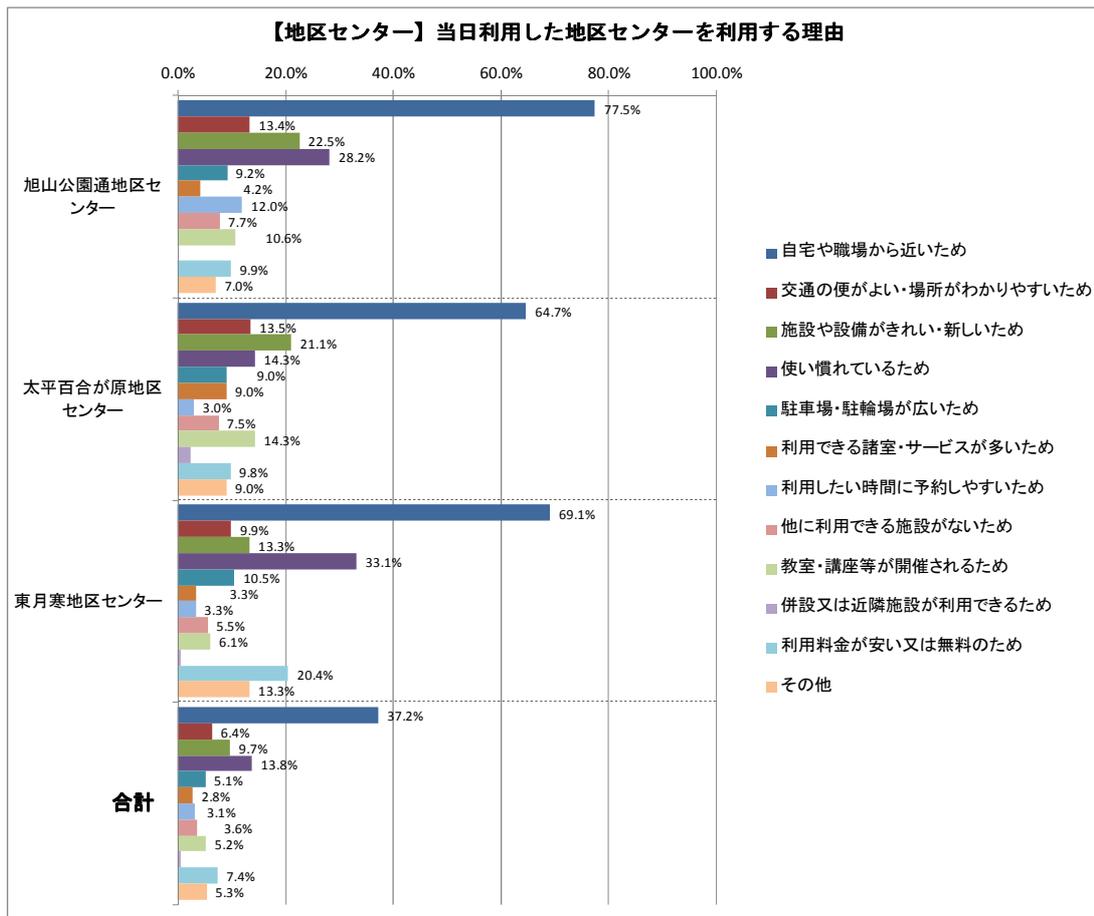


【地区センター】当日の利用形態



【地区センター】当日の利用施設(諸室)





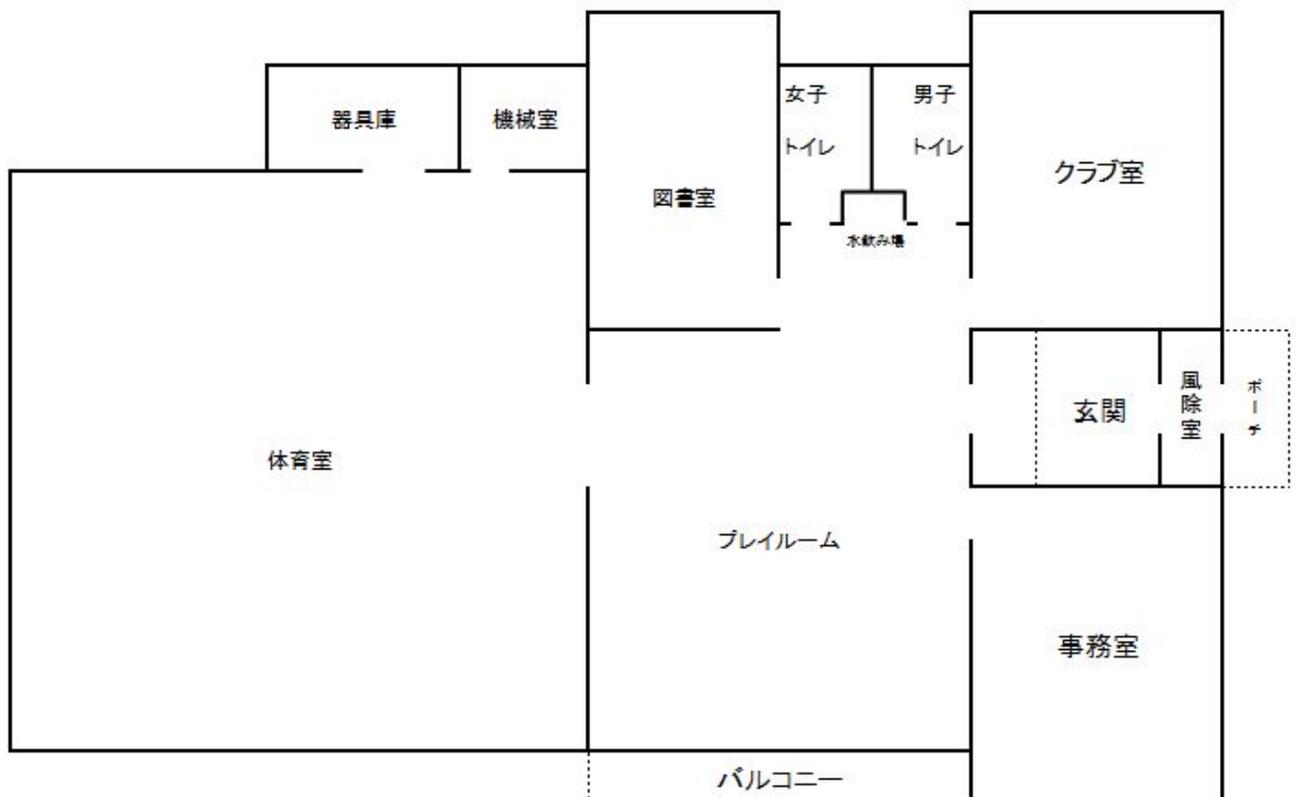
- 利用目的は区民センターと同様、「**図書の貸出・返却・閲覧**」が最多であり、それに対応して利用形態は「**個人利用**」が、利用施設は「**図書室・図書サービス**」がそれぞれ約半数を占めている。区民センターと比較すると、「**講座・講習・講演**」、「**文化活動**」を目的とした利用の割合が低い。
- 図書に次いで「**運動・スポーツ**」を目的とした利用が多く、利用施設で「**ホール・体育館**」が多くなっている。
- 利用形態では、区民センターと比較して「**個人利用**」、「**地域活動等の団体利用**」の割合が多く、「**サークル活動等の団体利用**」の割合は少なくなっている。
- 当日利用した地区センターを利用する理由としては、「**自宅や職場から近い**」が最多であり、次いで「**使い慣れている**」、「**施設や設備がきれい・新しい**」となっている。
- 区民センターと比較すると、利用理由で「**駐車場・駐輪場が広い**」はそれほど重視されていない。

## 7. 児童会館

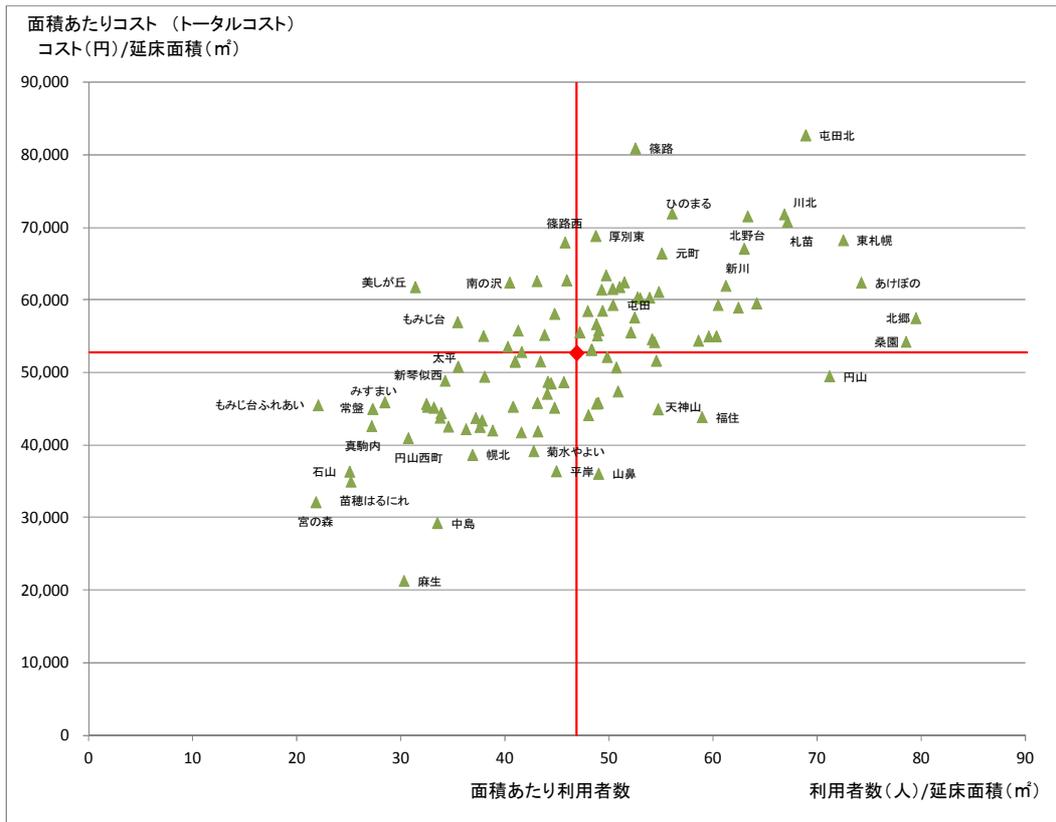
### ■基本情報

名称	児童会館	
用途区分	一般市民利用施設（児童会館）	
所管	子ども未来局子ども育成部子ども企画課	
設置根拠条例	札幌市児童会館条例	
設置目的	児童の文化的素養をつちかい、その福祉を増進するため	
運営形態	指定管理者 ○公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会（104施設）	
開館日数・時間	294～301日/年 8:45～18:00 ※中高校生の夜間利用日及び占用利用時は～21:00 ※放課後児童クラブの実施時間は放課後（学校休業日は8:00）～19:00	
建築年数	4年～43年 約7割の施設が築20年超	
延床面積	480㎡程度	
主な施設の構成	体育室、クラブ室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、図書室、事務室	
施設の配置基準	1中学校区に1館（計104館）	

### 東月寒児童会館

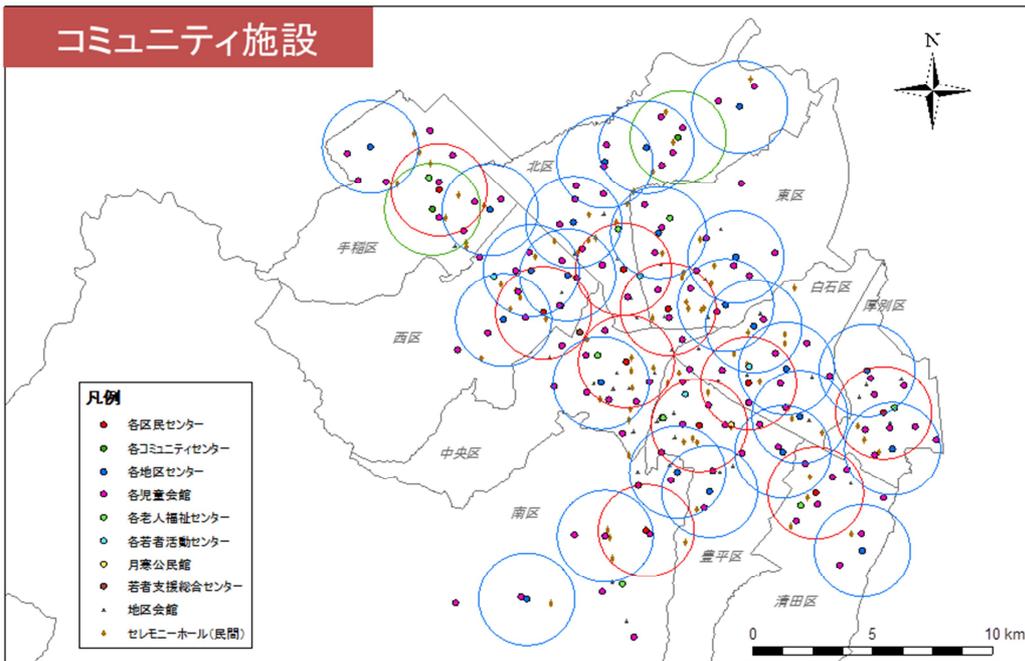


■ 利用・コスト評価（H24 年度施設現況調査より）



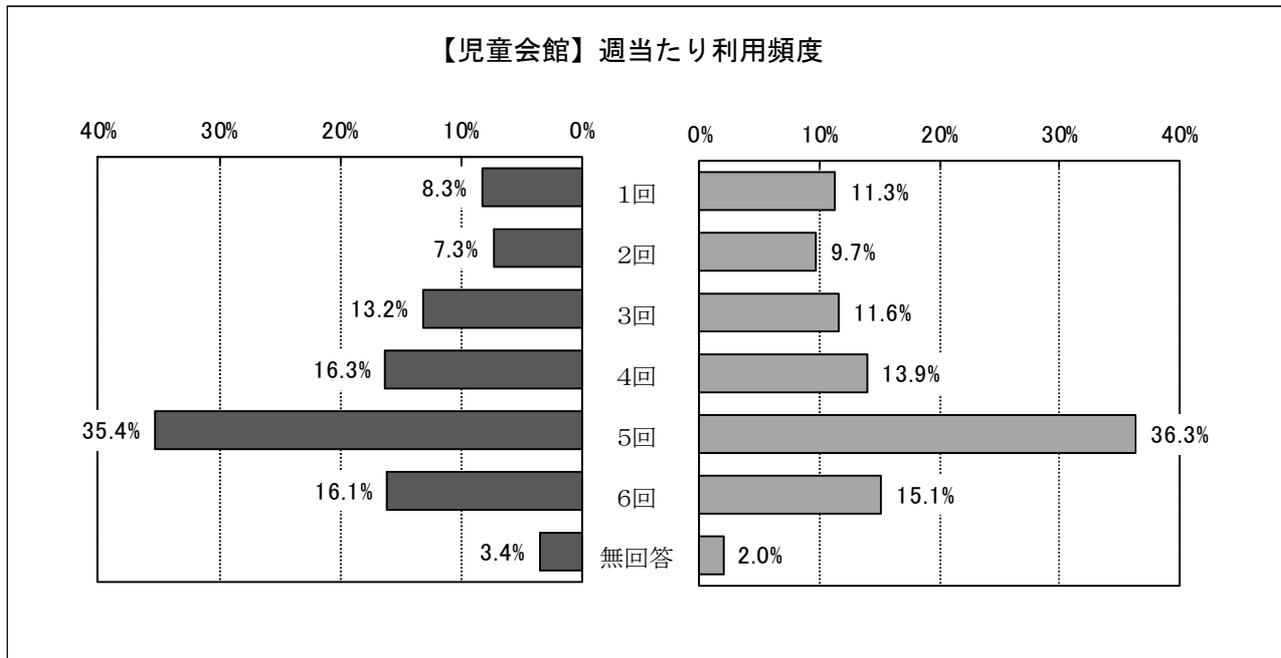
> 面積当たりコスト、利用者数ともにバラツキがあり、4 倍程度の開きがある。  
 > 利用者数に応じて指導員の加配等の措置があり、利用者数とコストの間に相関関係が見られる。

■ 類似施設調査（H24 年度基礎的調査より）

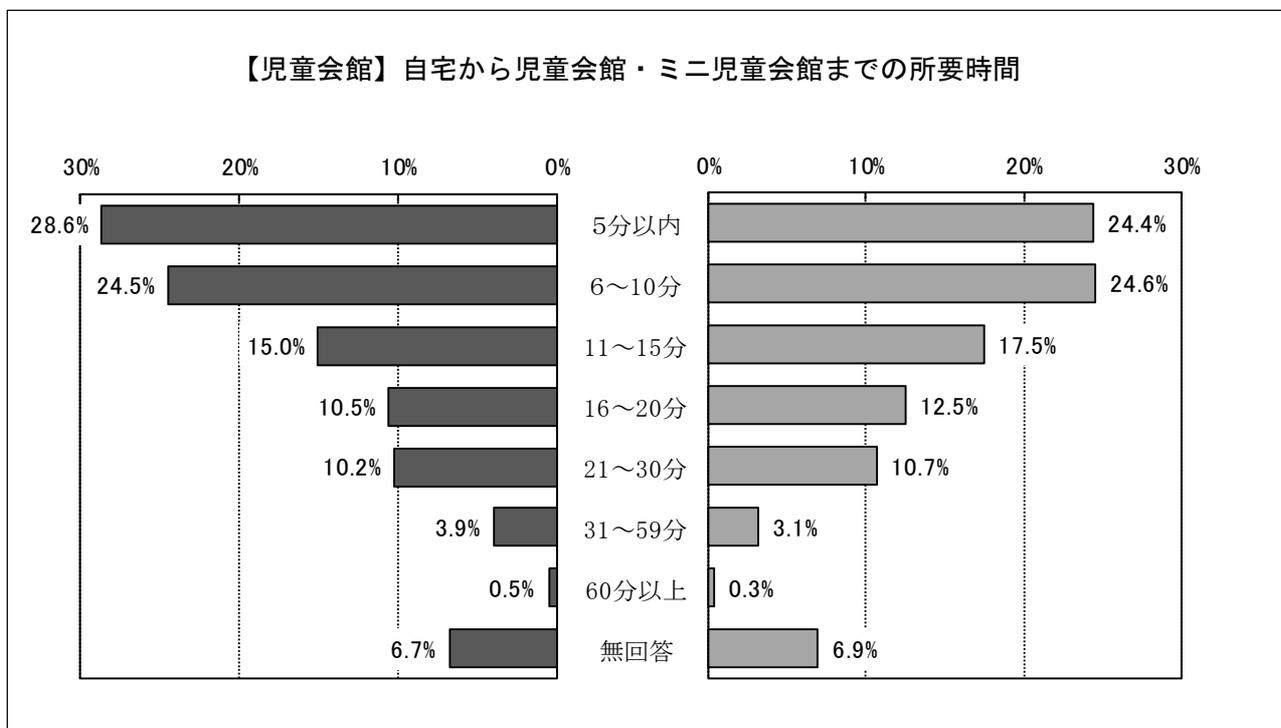


> 2km 圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設(コミュニティ施設、児童会館等)が多数あり。

■利用者アンケート～小学生～（H23 年度児童会館利用者に対するアンケート調査より）

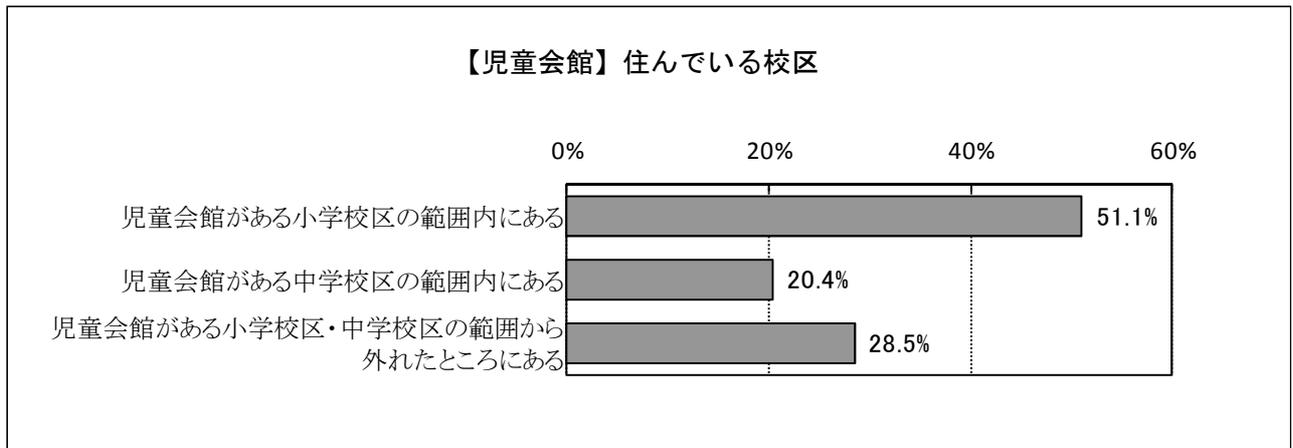


➤児童会館利用者、ミニ児童会館利用者いずれも「週5回」が最多となっている。

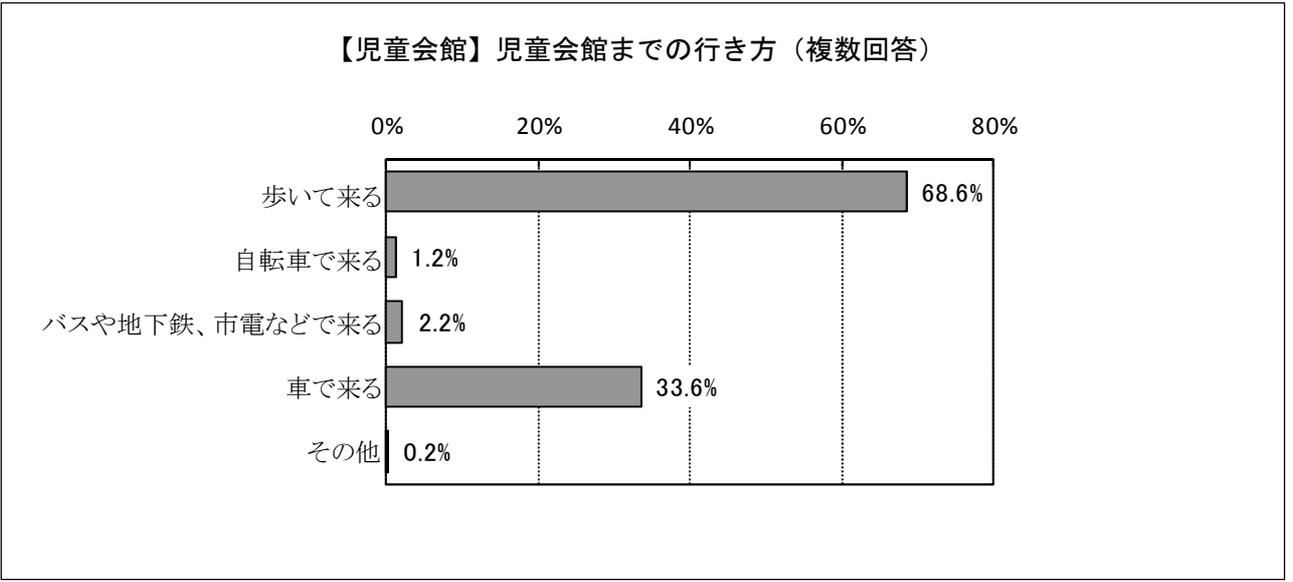


➤児童会館利用者では、「5分以内」が28.6%と最多。次いで「6～10分」が多い。  
 ➤ミニ児童会館では、「6～10分」が24.6%と最多。次いで「5分以内」が多い。

■利用者アンケート～子育てサロン利用者～（H23年度児童会館利用者に対するアンケート調査より）

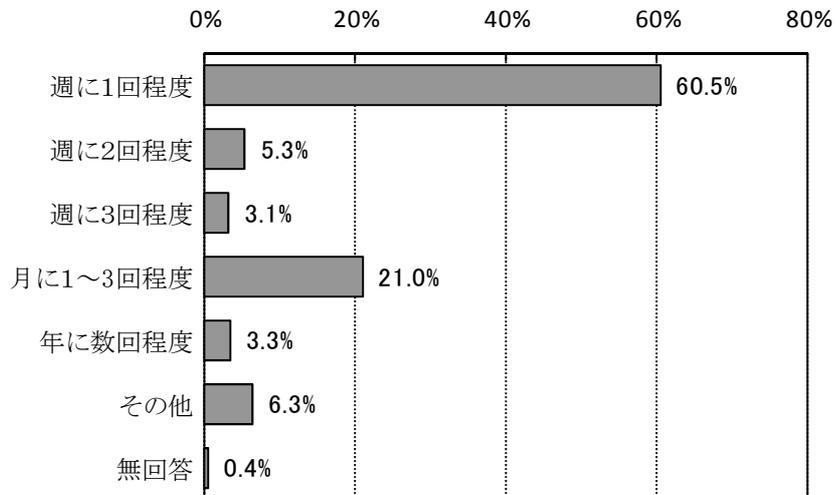


➤ 「児童会館がある小学校区の範囲内にある」が51.1%と最も高く、半数を超えている。次いで、「児童会館がある小学校区・中学校区の範囲から外れたところにある」が多い。



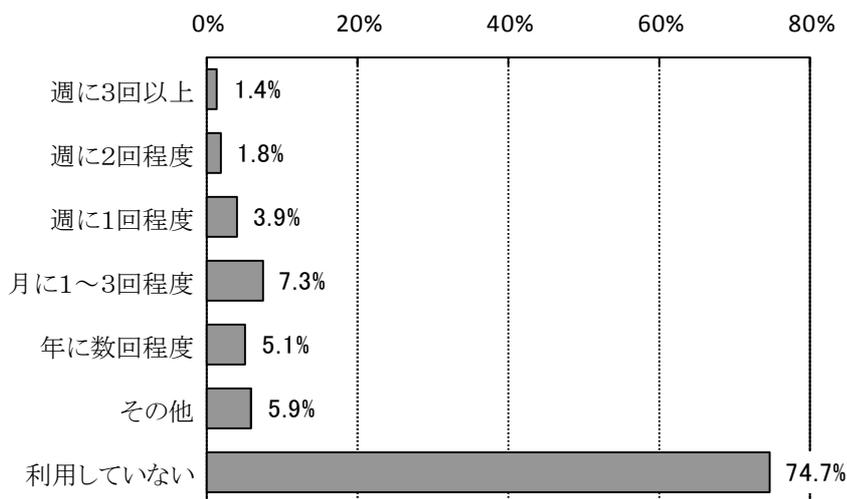
➤ 「歩いて来る」が68.6%と最も高く、次いで「車で来る」が33.6%となっている。

【児童会館】「子育てサロン」利用回数



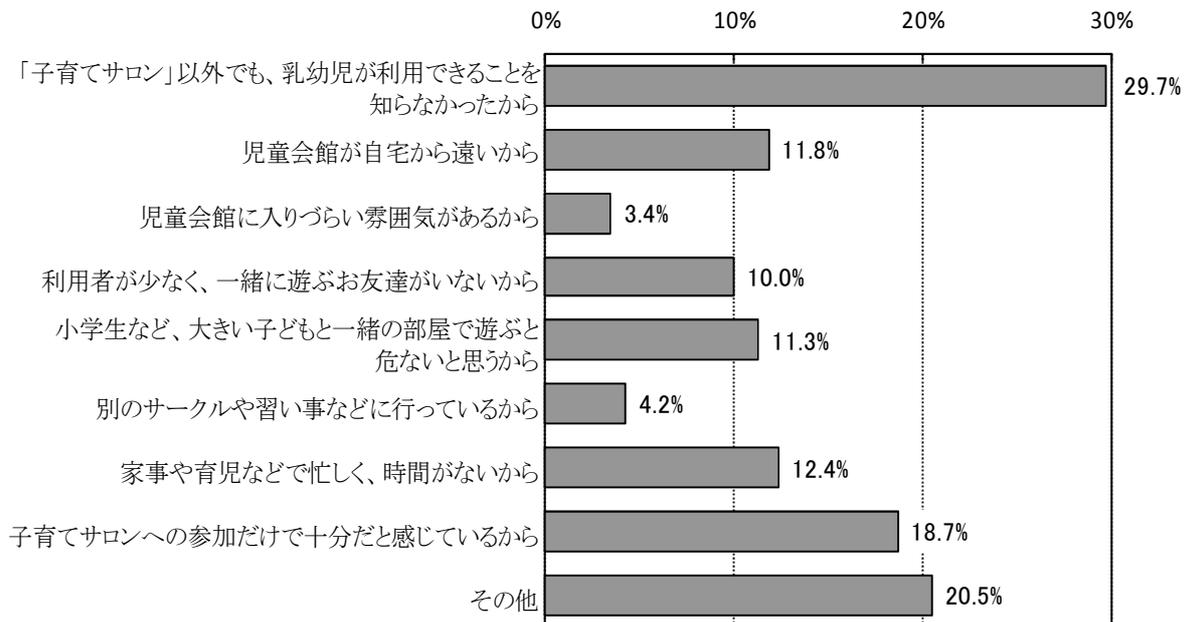
➤「週に1回程度」が60.5%と最も高く半数を超えている。次いで、「月に1～3回程度」が21.0%となっている。

【児童会館】「子育てサロン」以外で親子での利用回数



➤「利用していない」が70%以上で最多。  
 ➤「子育てサロン」以外で利用している親子のなかでは、「月に1～3回程度」が最も多い。

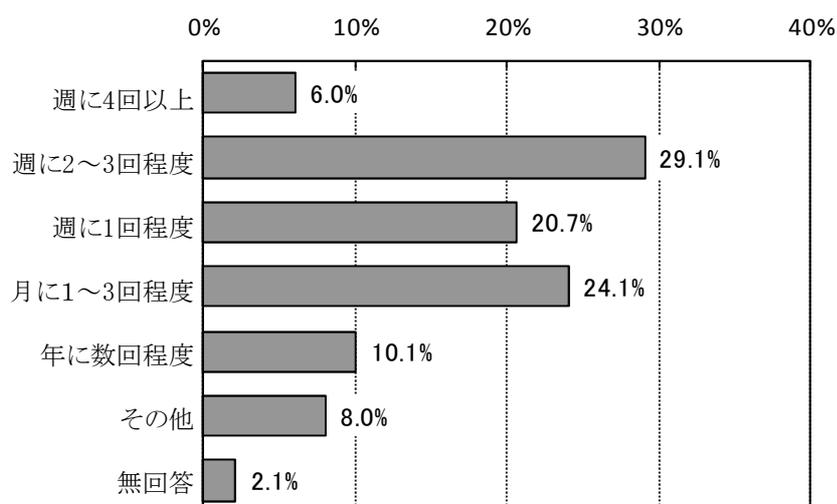
【児童会館】「子育てサロン」以外で児童会館を利用しない理由



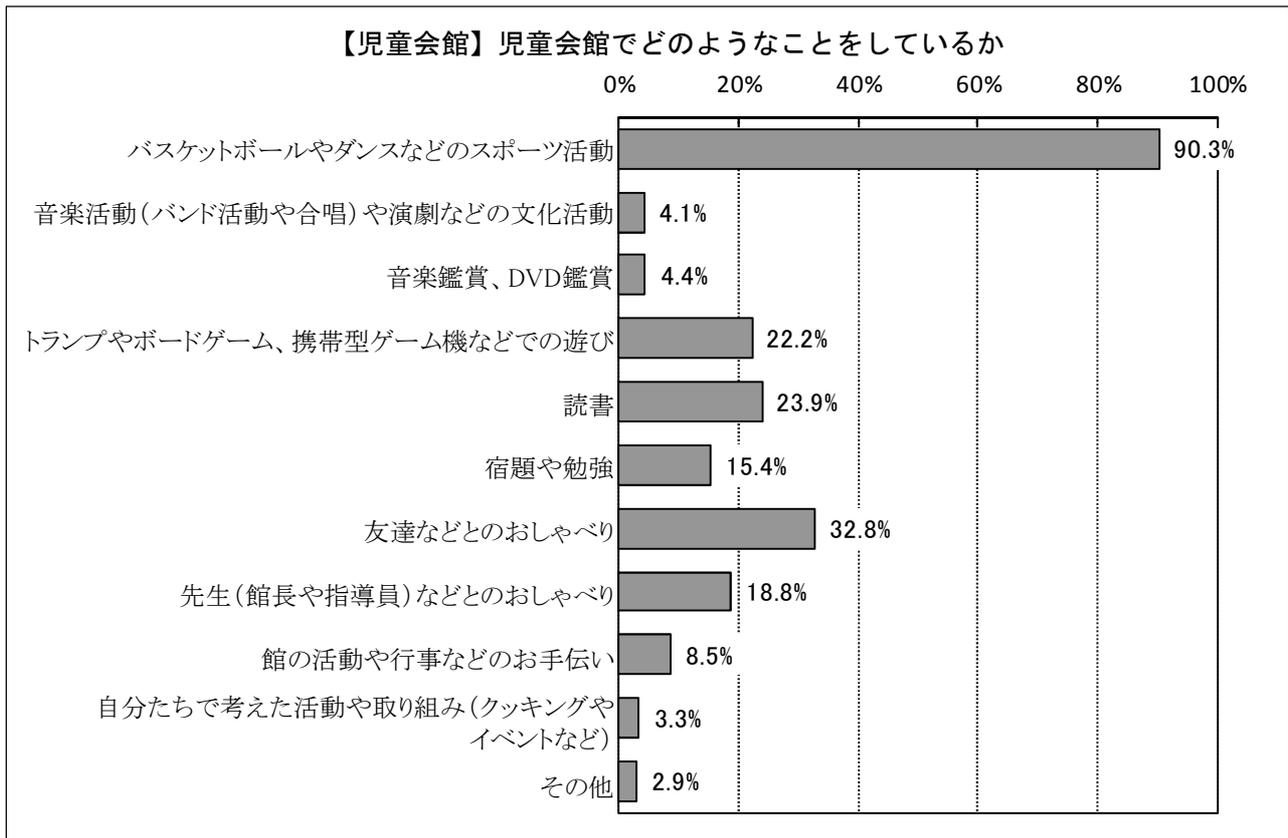
- 「子育てサロン」以外でも、乳幼児が利用できることを知らなかったから」が最多。次いで「その他」が多くなっている。
- 「その他」では、「特に理由はない」「サロン以外では遊び方がわからない」などの意見があった。

■利用者アンケート～中学生・高校生～（H23年度児童会館利用者に対するアンケート調査より）

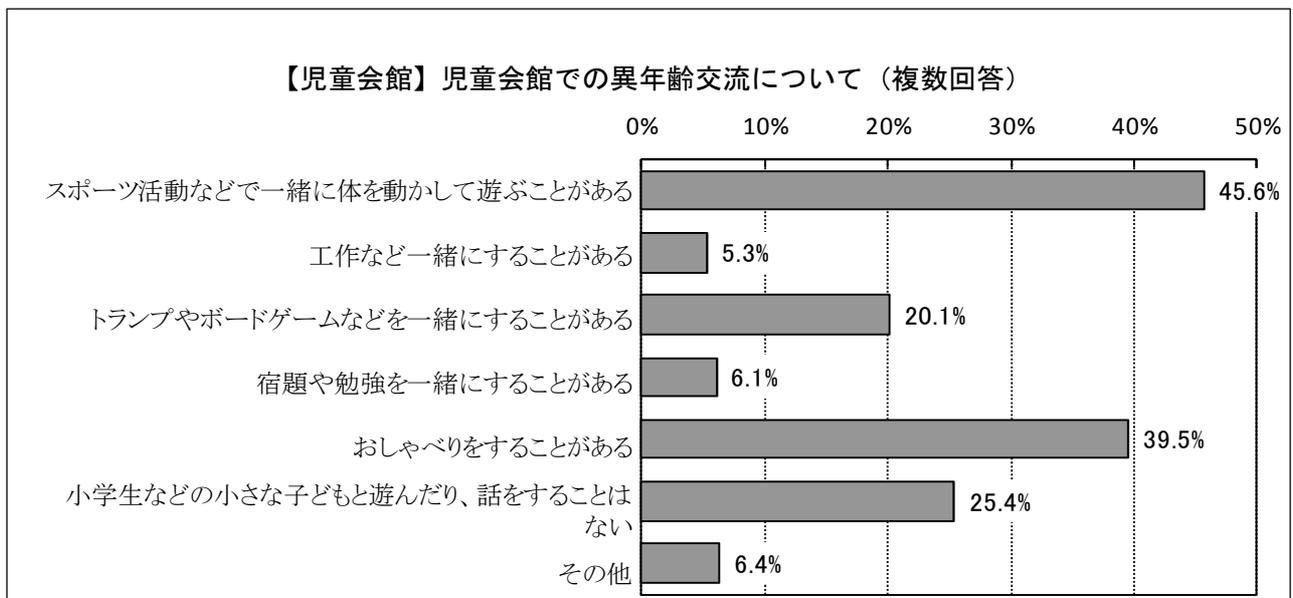
【児童会館】児童会館の利用頻度



- 児童会館の利用頻度については、「週に2～3回程度」が最も高く、次いで「月に1～3回程度」、「週に1回程度」となっている。



➤ 「バスケットボールやダンスなどのスポーツ活動」が 90.3%と最も高く、次いで「友達などのおしゃべり」が 32.8%、「読書」が 23.9%、「トランプやボードゲーム、携帯型ゲーム機などでの遊び」が 22.2%となっている。



➤ 「スポーツ活動などで一緒に体を動かして遊ぶことがある」が 45.6%と最も高く、次いで「おしゃべりをすることがある」が 39.5%となっている。

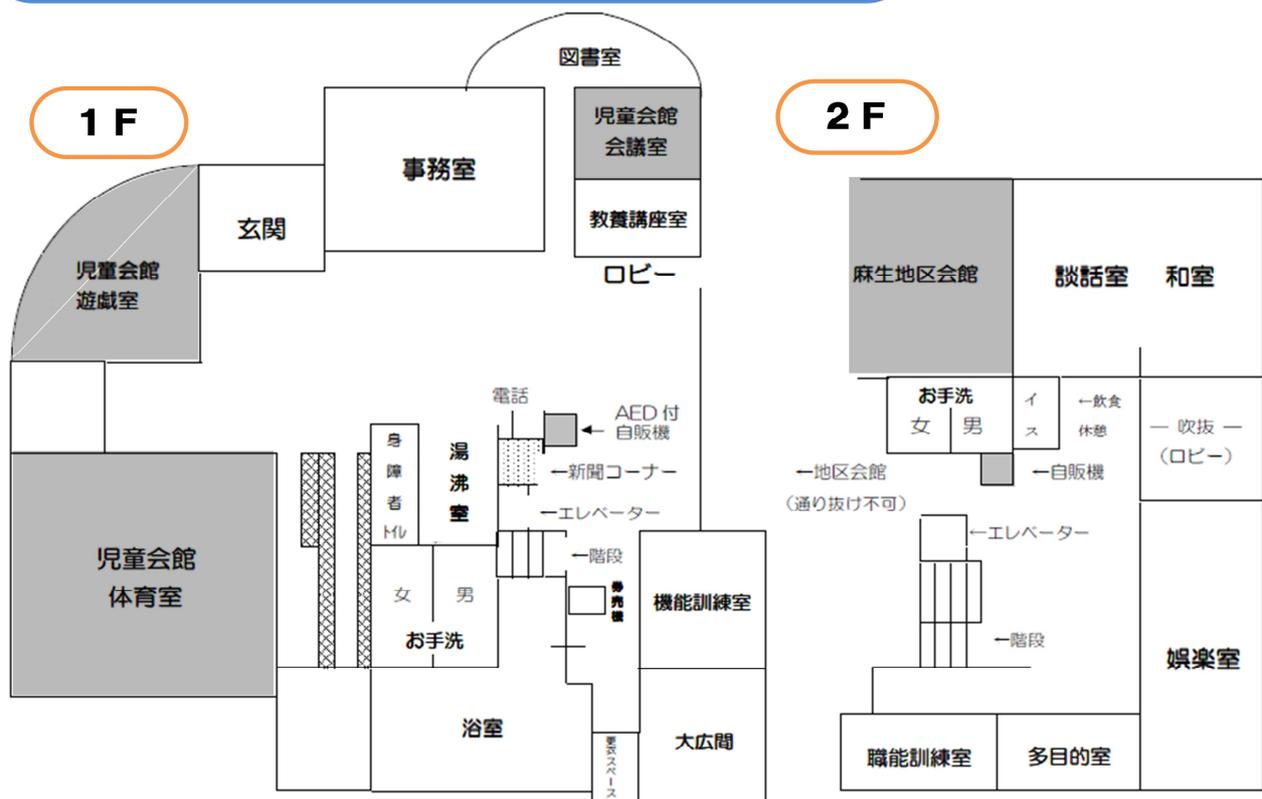
# メモ

## 8. 老人福祉センター

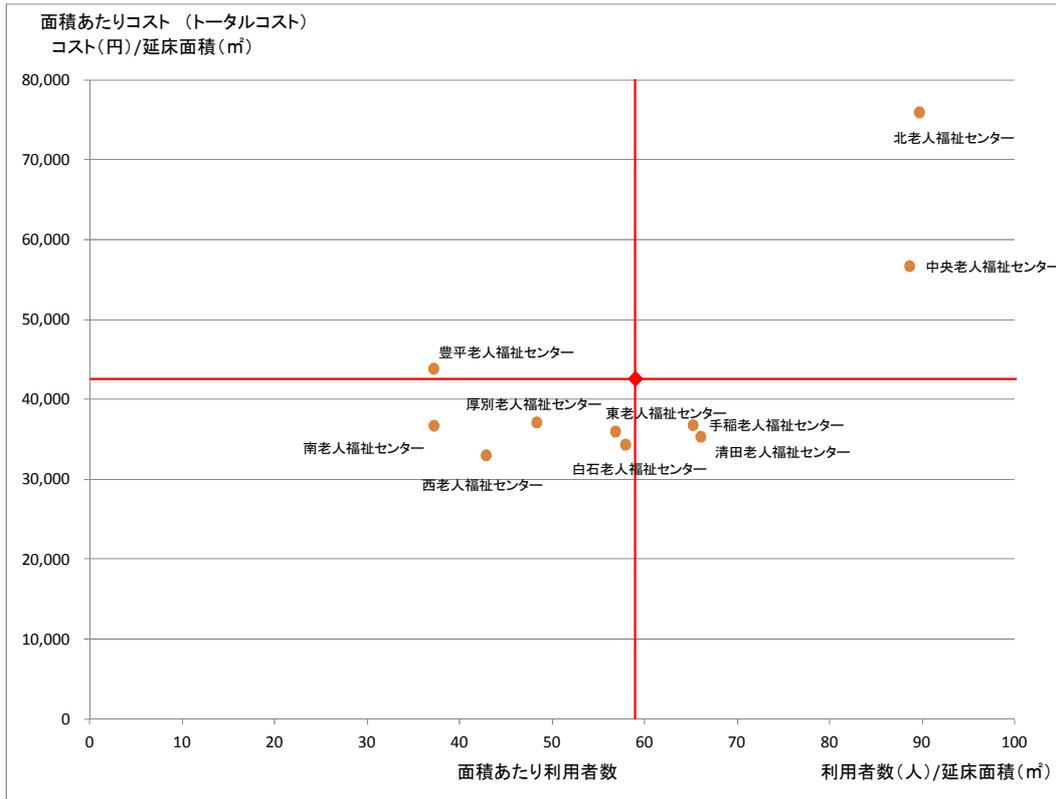
### ■基本情報

名称	老人福祉センター	
用途区分	一般市民利用施設（老人福祉センター）	
所管	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課	
設置根拠条例	札幌市老人・身体障害者福祉施設条例	
設置目的	老人の福祉の増進を図るため	
運営形態	指定管理者 ○社会福祉法人札幌市福祉事業団（8施設） ○株式会社シムス（1施設） ○特定非営利活動法人ワーカーズコープ（1施設）	
開館日数・時間	333～335日/年 9:00～17:00	
建築年数	14年～31年 半数以上の施設が築20年超	
延床面積	1,300㎡程度	
主な施設の構成	大広間、浴室、機能回復訓練室、教養娯楽室、ロビー、事務室	
施設の配置基準	1区に1館設置（計10館）	
備考	市内に居住する60歳以上の方が、登録を受けて利用する施設。 中央、東、厚別、豊平、南、西はデイサービスセンターを併設。	

### 北老人福祉センター（麻生総合センター内）

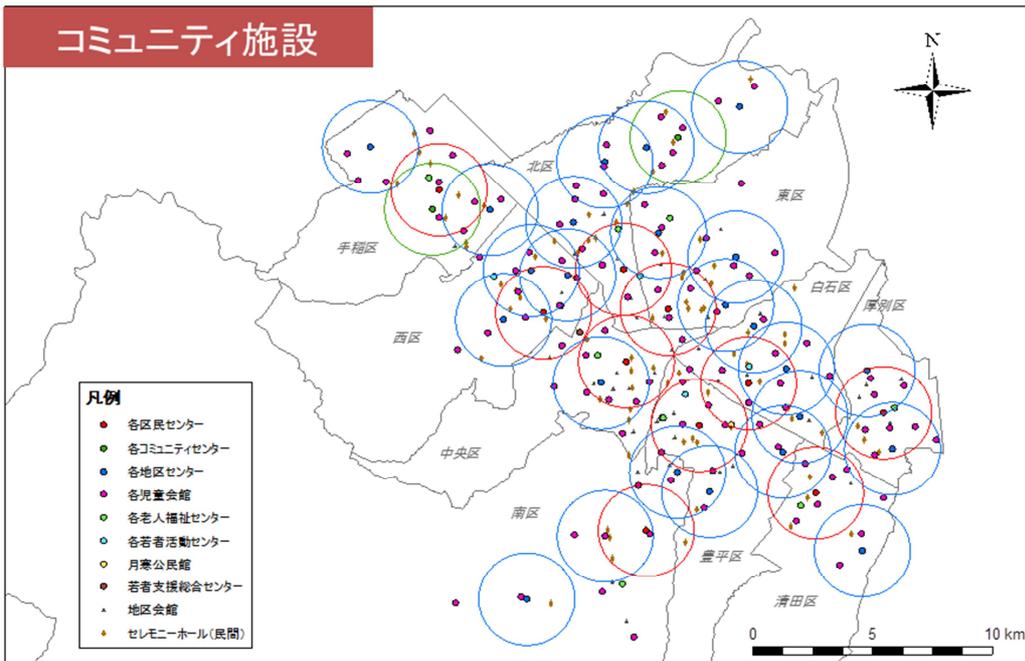


■ 利用・コスト評価（H24 年度施設現況調査より）



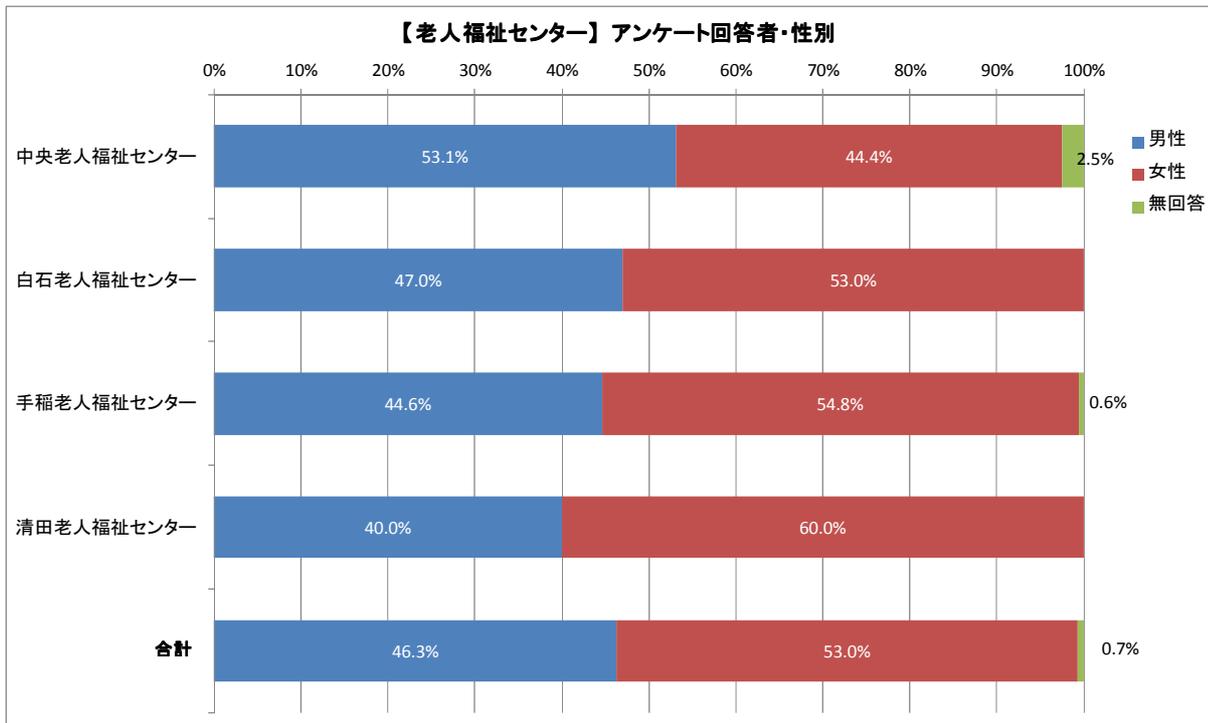
> 面積あたりコストは、中央と北を除くとほぼ同程度となっている。  
 > 面積あたり利用者数にはバラツキがあり、3倍程度の開きがある。  
 ※中央・北は、他施設と比べて規模が小さい。

■ 類似施設調査（H24 年度基礎的調査より）

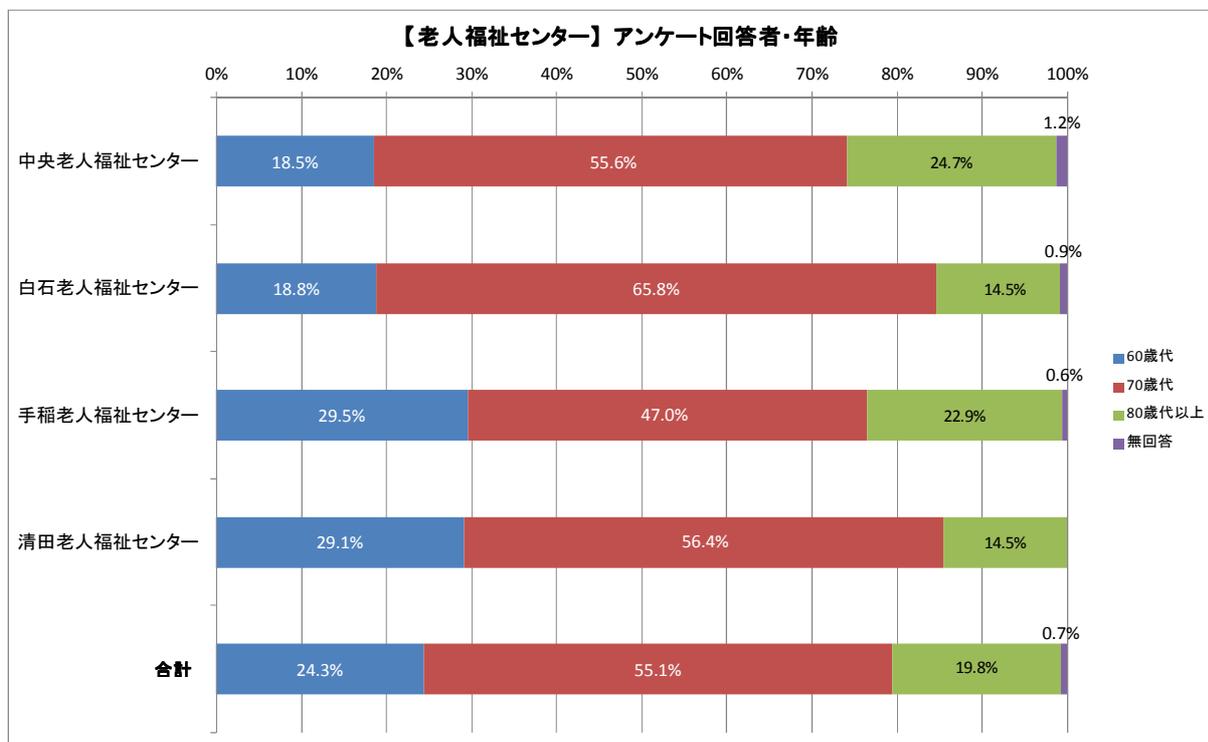


> 2km 圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設(コミュニティ施設、児童会館等)が多数あり。

■利用者アンケート（H24 年度基礎的調査より）

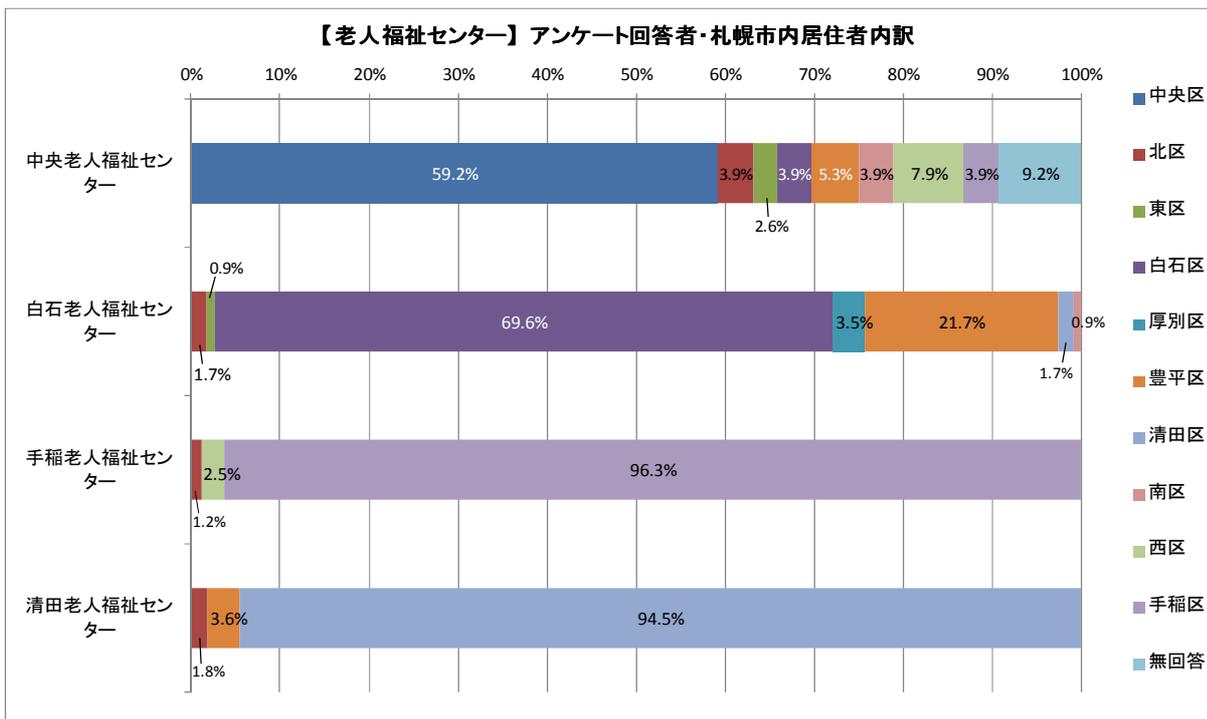


➤ 「女性」の利用が比較的多い。



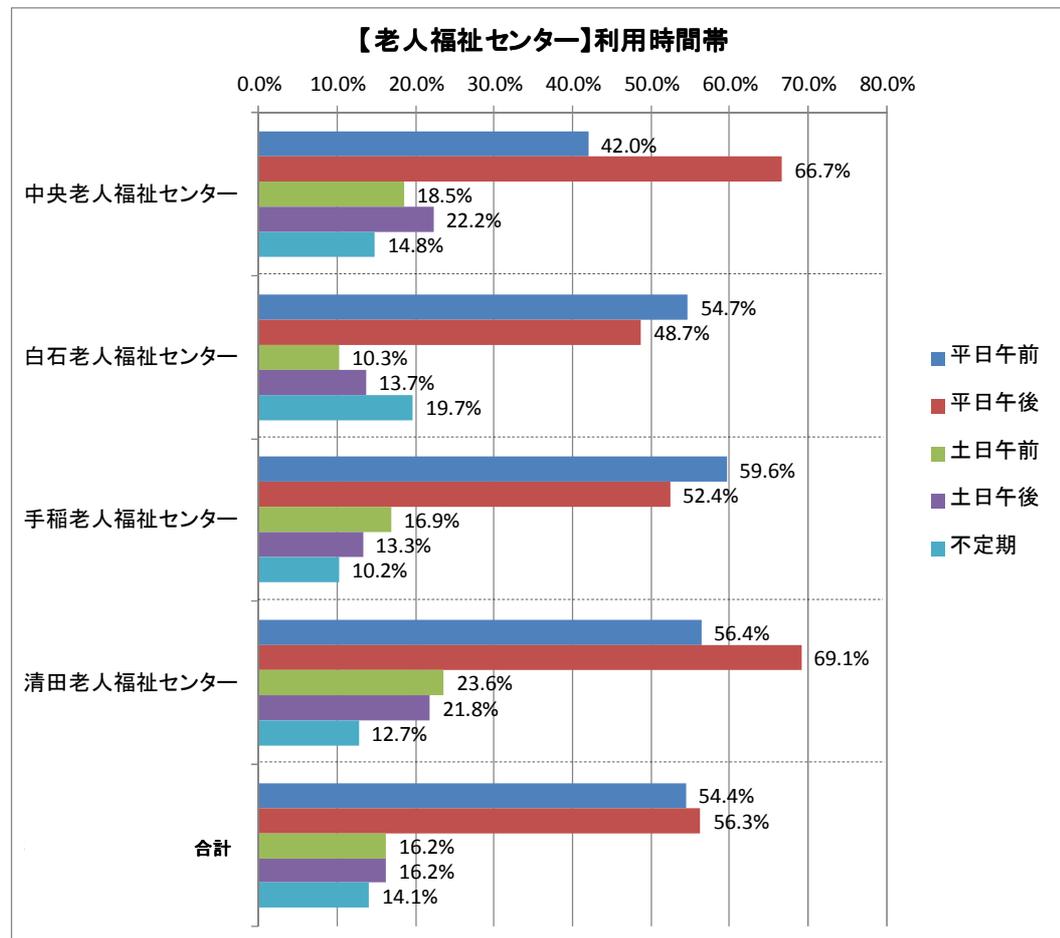
➤ 「70歳代」の利用が最も多い。

【老人福祉センター】アンケート回答者・札幌市内居住者内訳

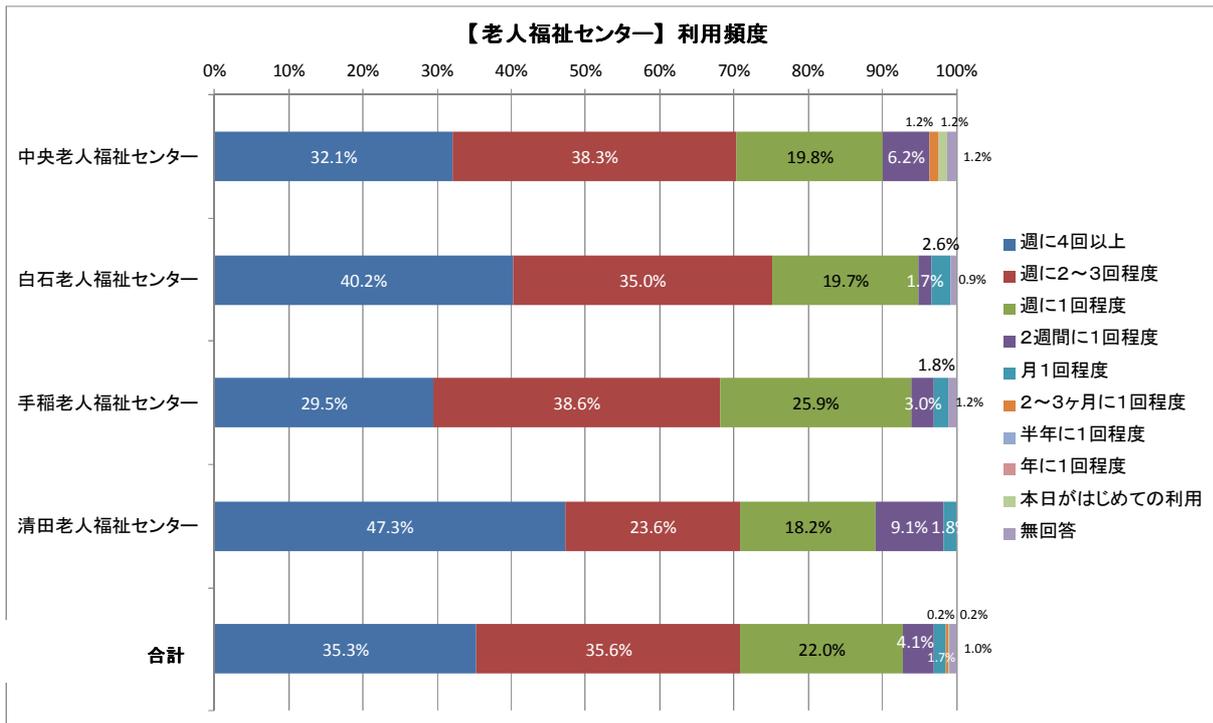


- 中央は6割、白石は7割、手稲・清田はほとんどが施設所在区からの利用者である。
- 白石では隣接する「豊平区」からの利用者が2割を超える。

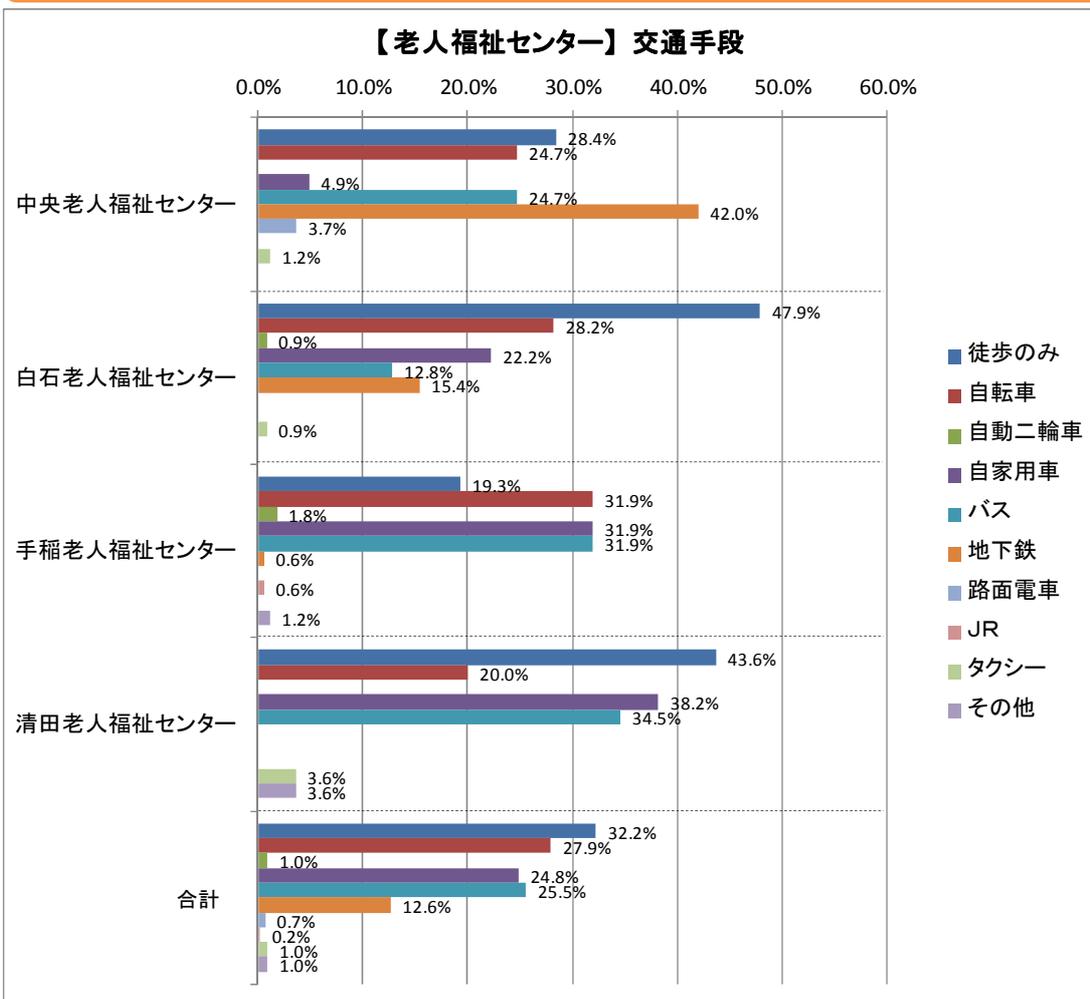
【老人福祉センター】利用時間帯



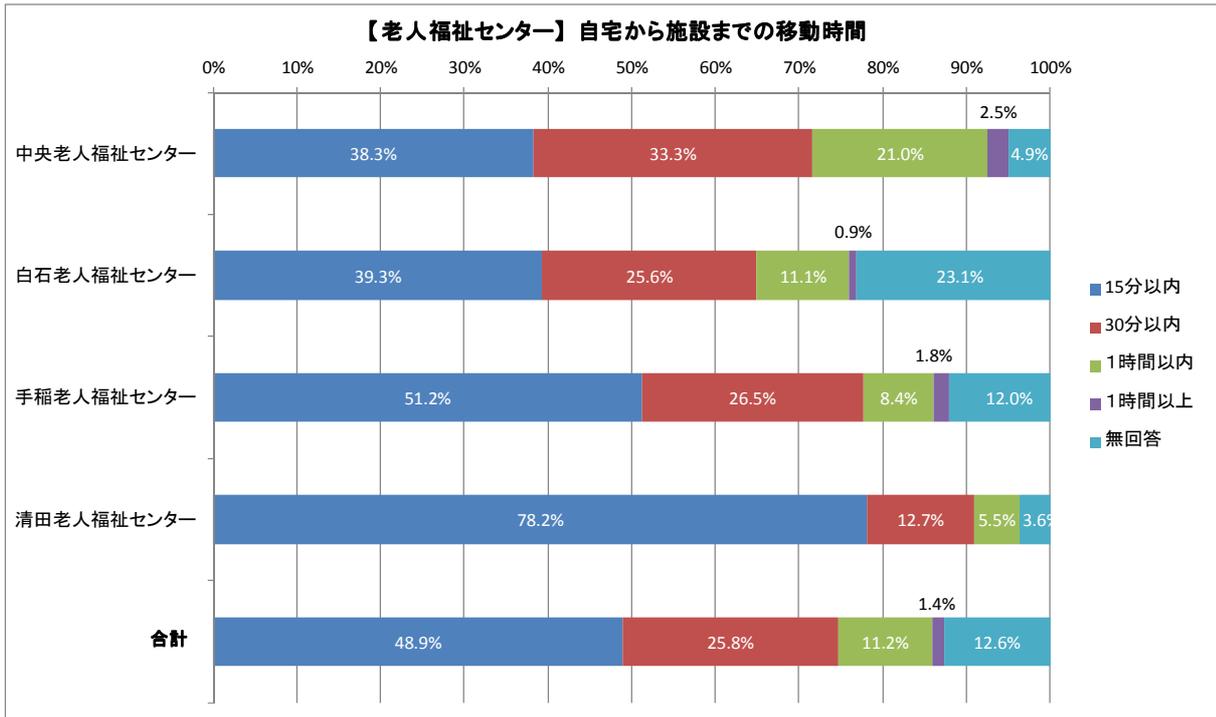
- 平日の利用が多い。土日の利用は、比較的少ない。



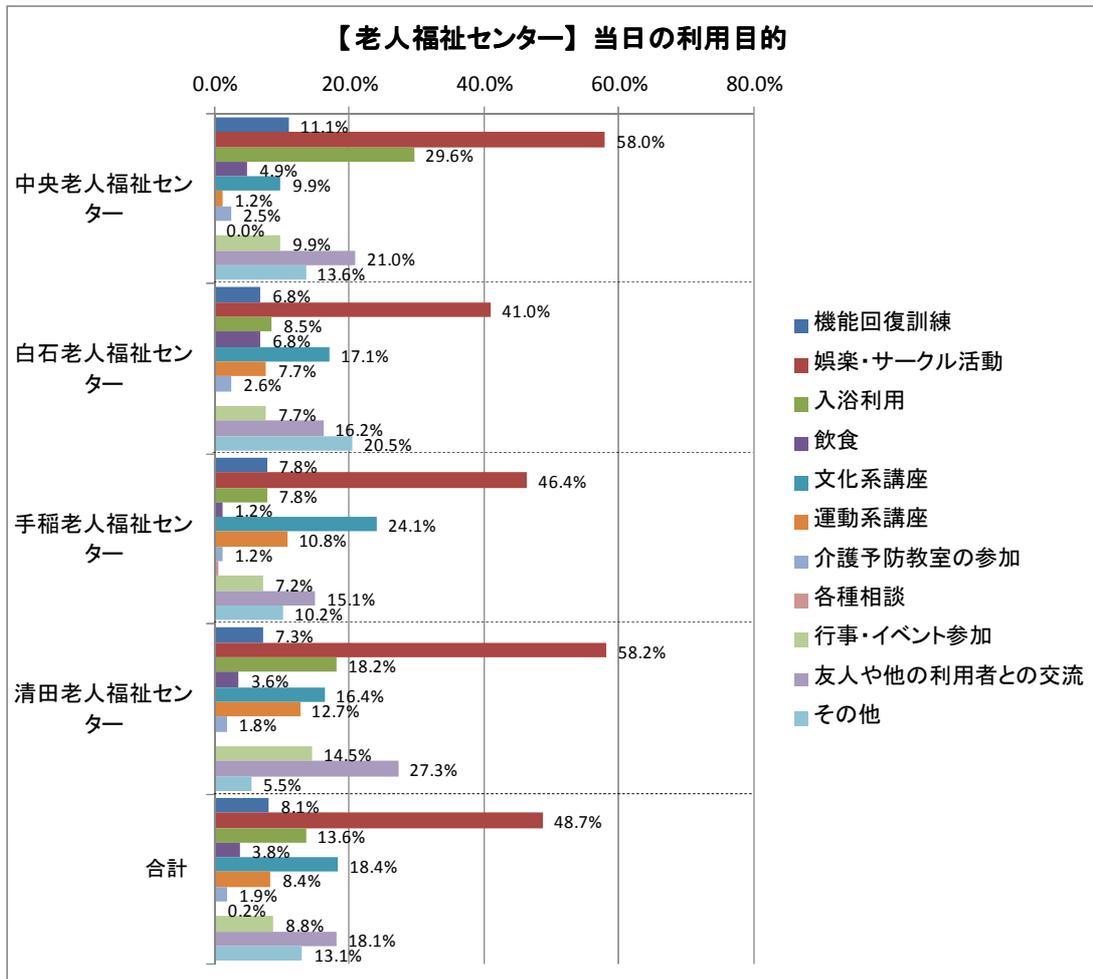
➤ ほぼ9割の方が毎週利用し、「週に4回以上」も回答者の3分の1に上る。

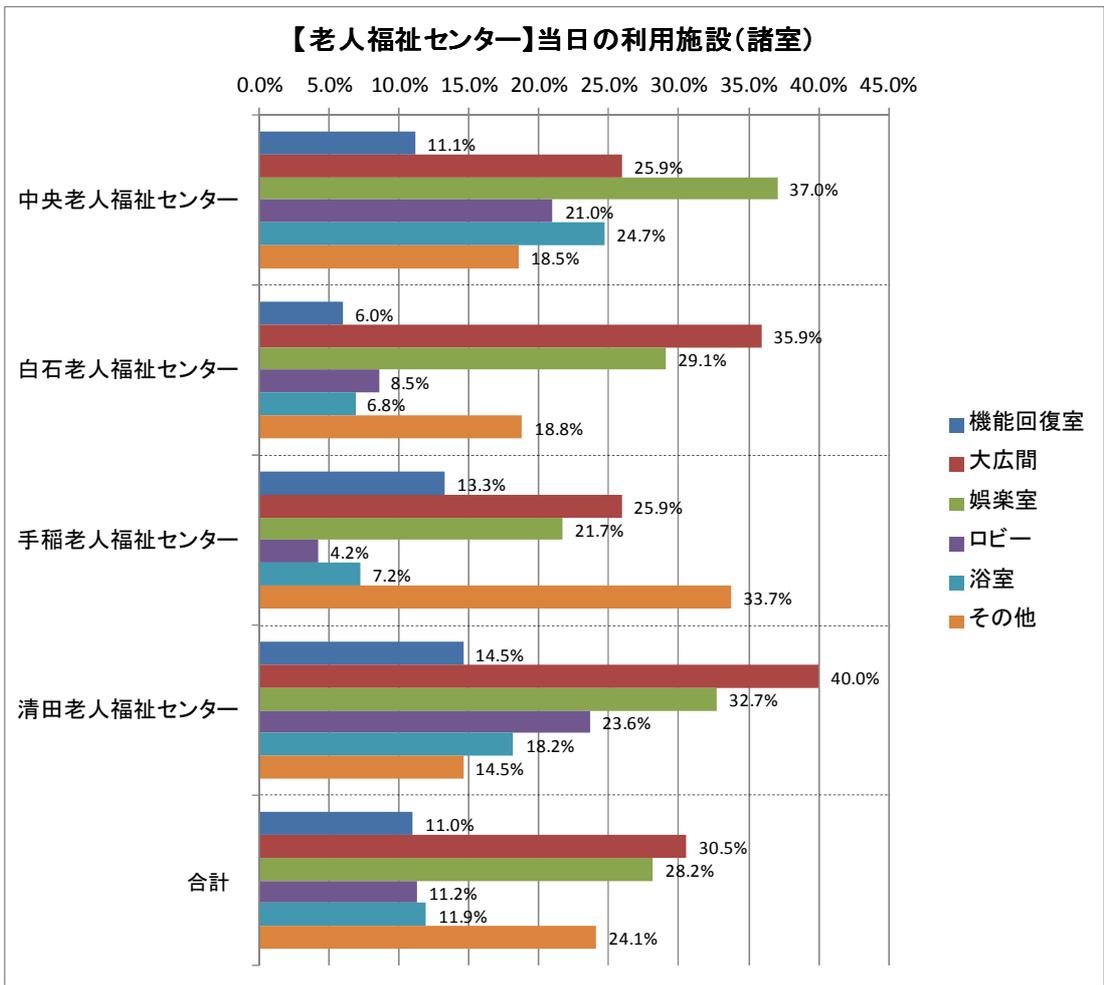
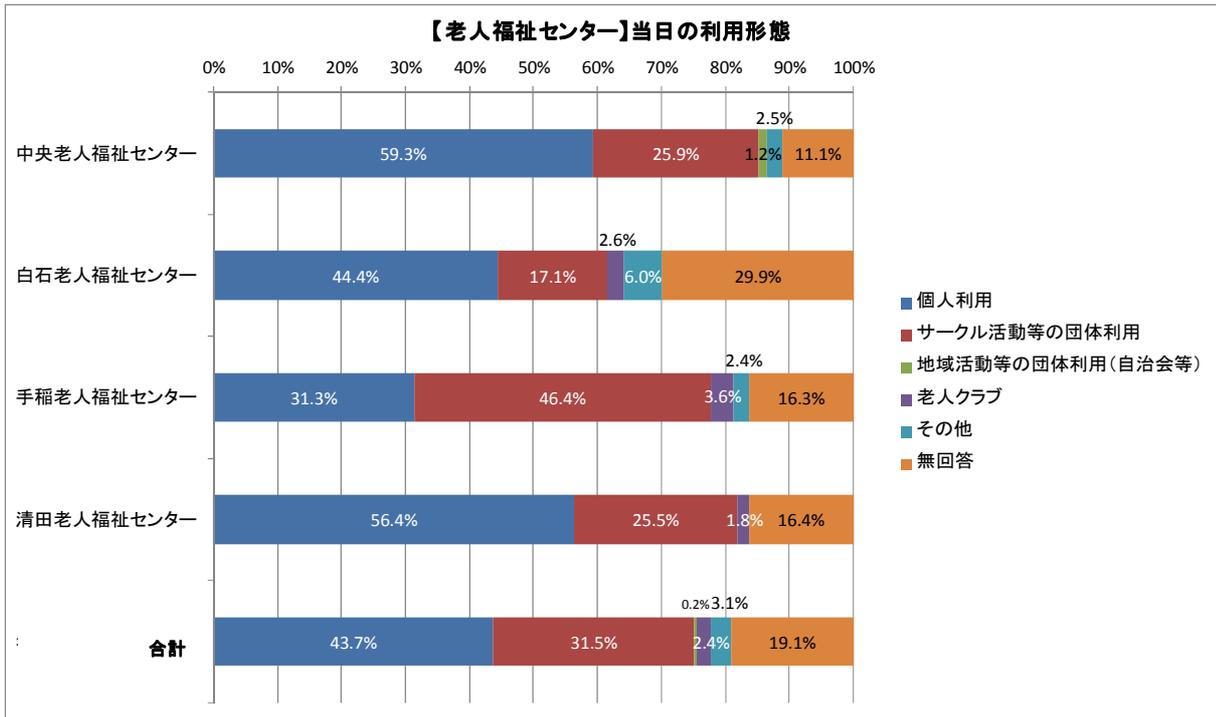


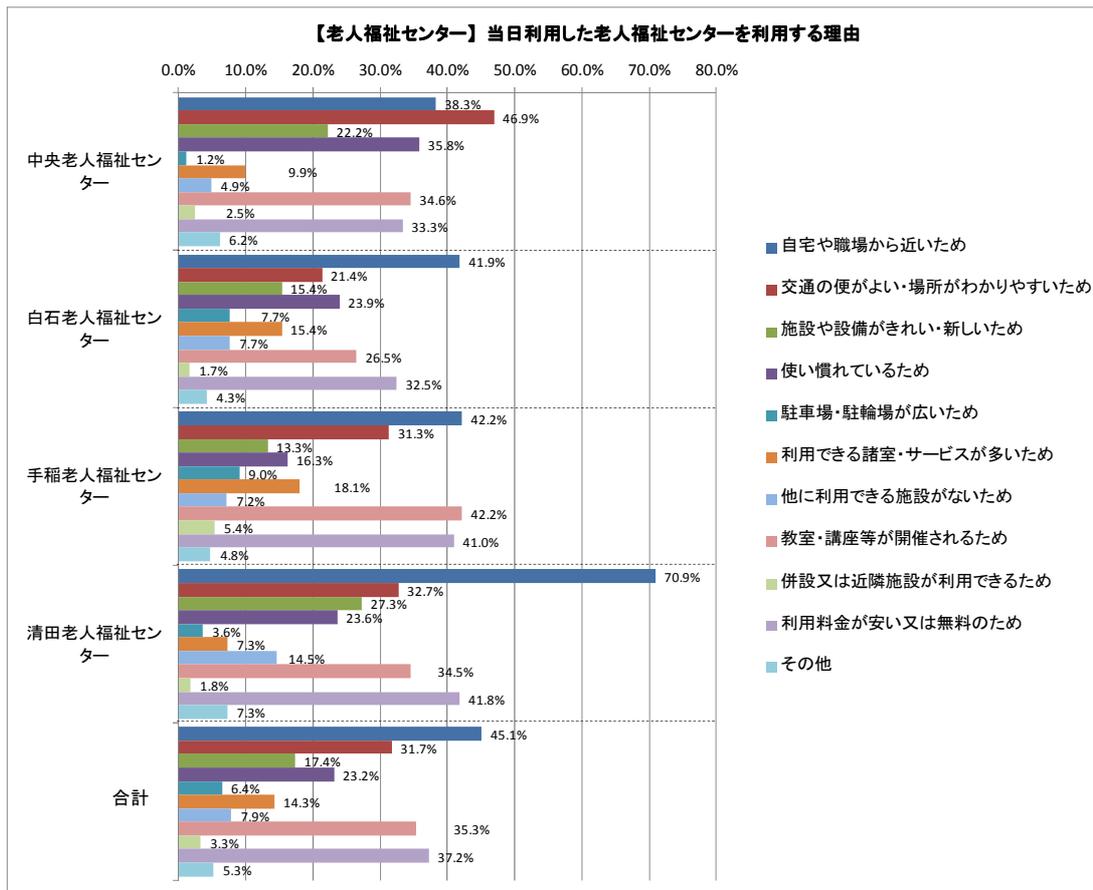
➤ 中央は「地下鉄」・「バス」、白石は「徒歩のみ」、手稲は「自転車」・「自家用車」・「バス」、清田は「徒歩のみ」・「自家用車」・「バス」が多く、施設ごとに傾向が異なる。



➤ 「15分以内」と「30分以内」が70%以上を占めている。清田区は「15分以内」が特に多い。





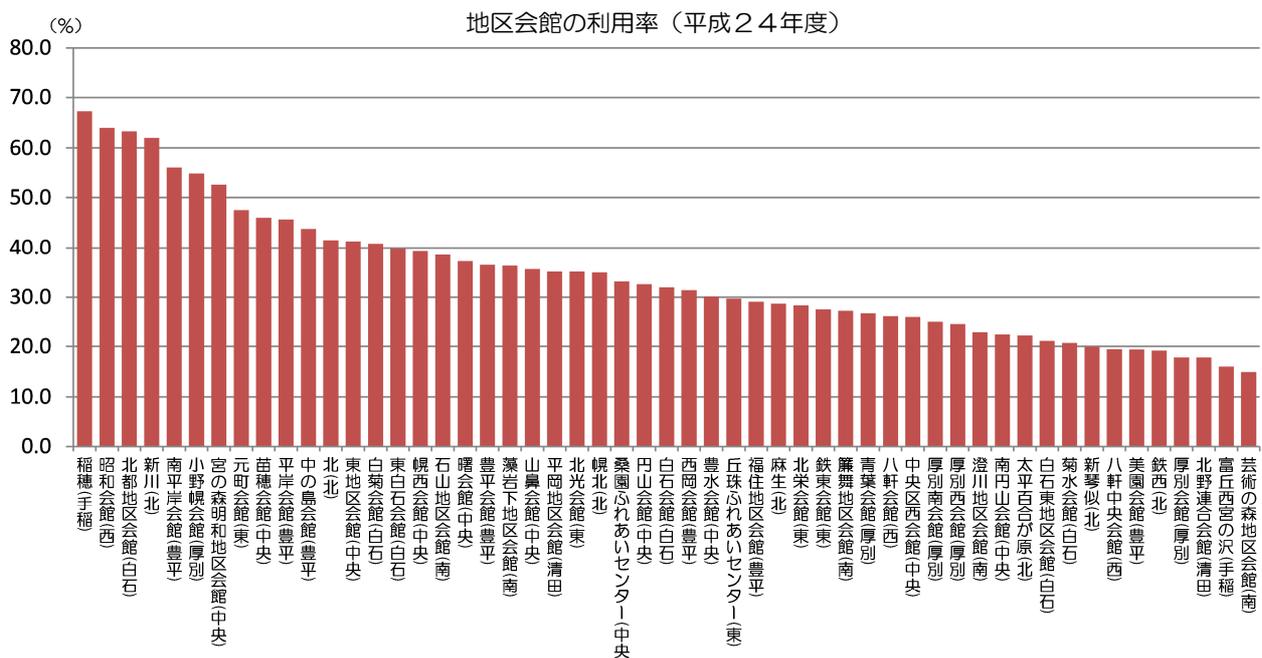


- 利用目的は「**娯楽・サークル活動**」が最多であり、利用形態は「**個人利用**」及び「**サークル活動等の団体利用**」の2つが多くなっている。
- 利用施設では、個人利用で「**娯楽室**」、サークル活動で「**大広間**」の利用が多いと推測される。
- 手稲は文科系サークルが比較的多く、利用施設は「**その他**」の教養講座室が多い。
- 利用理由では、他の施設と同様「**自宅や職場から近い**ため」が最多であるが、「**利用料金が安い又は無料**のため」が多くなっているのが特徴である。
- 中央では「**交通の便がよい・場所がわかりやす**いため」が、清田では「**自宅や職場から近い**ため」が他と比べて特に多い。

## 9. まちづくりセンター・地区会館

### ■基本情報

名称	まちづくりセンター・地区会館	
用途区分	庁舎など	
所管	各区市民部総務企画課、地域振興課 市民まちづくり局地域振興部区政課	
設置根拠条例	—	
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンター 住民組織の振興、地区の要望等の収集、市政の周知、戸籍や住民票の取り次ぎ、市民自治によるまちづくりをすすめる。</li> <li>地区会館 地域コミュニティ活動の育成</li> </ul>	
運営形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンター 直営 77 か所、自主運営 8 か所（麻生、元町、月寒、真駒内、石山、藻岩下、澄川、芸術の森地区）</li> <li>地区会館 連合町内会が運営委員会を組織し、市から貸付を受けて運営。</li> </ul>	
開館日数・時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンター 244 日/年 8:45～17:15</li> <li>地区会館 年末年始を除く 9:00～21:00</li> </ul>	
建築年数	1 年～49 年 半数以上の施設が築 20 年超	
延床面積	350 ㎡（基準となる規模。うち、まちづくりセンター部分は約 70 ㎡）	
主な施設の構成	まちづくりセンター部分：事務室、小会議室 地区会館部分：集会室、厨房等	
施設の配置基準	概ね 1 連合町内会あたり 1 施設（計 85 か所 うち、地区会館併設は 56 か所）	



※苗穂記念館、厚別会館、白石会館は改築中。

